WHILL Model C / CK

取扱説明書

WHILL

はじめに

この度は、WHILL Model C /WHILL Model CK をご利用いただき、誠にありがとうございます。
本取扱説明書では、本製品の利用者向けに、速度や方向を制御するコントローラーなどの重要な機能について、安全にお使いいただくための方法を説明しています。また、利用者ご自身で実施していただける基本点検、異常時の対処方法、お手入れ方法についても説明しています。
そのほか、取扱店や代理店、営業担当者などが本製品の重要な機能を詳細に理解するために本書を役立てていただくこともできます。
本書では、本製品の各部について、文章、図、標準的な用語を使用して説明しています。
当社は利用者の安全、快適性、使いやすさを大切にしています。ご使用の前に本書をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。また、本書は、いつでも確認できる場所に大切に保管してください。

・本書には、機密情報および特許権や著作権の保護対象である情報が含まれており、書面による WHILL 株式会社の明示的な許可を得ず本書の一部あるいは全部を複製、複写することを禁止します。
・本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不明な点や、誤り、お気づきの点がございましたら、WHILL コンタクトデスクまでご連絡ください。
・本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
・本書に記載されていない使いかたをされた場合、本製品が損傷するおそれがあります。

本書の見かた

本書では、以下のような記号を使って説明しています。記号の付いた指示は必ずお守りください。

■警告に関する表示

記 号	内 容
警　告	指示を守らなかった場合に、人が重度の傷害を負う可能性が想定される内容です。
注　意	指示を守らなかった場合に、人が軽度または中度の傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

■シンボルマークに関する表示

記 号	内 容
	してはならないことを示しています。
	製品を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示しています。
	しなければならないことを示しています。
	感電の可能性があることを示しています。
	破裂の可能性があることを示しています。

■その他の表示

記 号	内 容
	故障や不具合を防ぐため、および快適に製品を使用するために、必ず読んでいただきたい注意事項や、参考となる情報です。

目次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
本書の見かた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
1. 安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
1.1. ご使用にあたっての注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
1.2. EMI（電磁波干渉）について・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
1.2.1. 一般的な質問と回答 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
1.3. 警告ラベルの貼付位置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
1.3.1. ラベルの種類 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
1.3.2. ラベルの貼付位置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
1.4. シリアルナンバーの貼付位置 ・・・・・・・・・・・・・・・ 29
2. 製品について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
2.1. 内容物の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
2.2. 各部の名称・はたらき ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
2.3. アクセサリー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
3. バッテリーの充電 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
3.1. 各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
3.2. 充電方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
3.2.1. バッテリーを本体に取り付けたまま充電する場合 ・・・・・ 41
3.2.2. バッテリーを外して充電する場合 ・・・・・・・・・・・・ 42
3.2.3. 充電ランプの表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
3.3. 外したバッテリーの残量を確認する ・・・・・・・・・・・・ 45
3.3.1. バッテリーゲージのエラー表示 ・・・・・・・・・・・・・・ 46
3.4. バッテリーの保守点検と交換 ・・・・・・・・・・・・・・・ 47
4. 操作方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
4.1. 乗車前点検 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
4.2. 乗車する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
4.2.1. 前方から乗車する場合 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
4.2.2. 側方から乗車する場合 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
4.3. 骨盤ベルトを締める（オプション）・・・・・・・・・・・・・ 54

4.4. 電源を入れる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
4.4.1. バッテリー残量を確認する ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
4.4.2. 最高速度を調整する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
4.4.3. サウンドボタンを使用する ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
4.5. 運転する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
4.5.1. 前後へ移動する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
4.5.2. 斜め方向へ移動する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
4.5.3. 回転する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
4.5.4. 停止する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
4.5.5. 速度を調整する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
4.5.6. 路面状況ごとの運転 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
4.6. ブレーキを解除する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
4.6.1. 解除方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
4.7. 荷物を持ち運ぶ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
4.8. 鍵をかける ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
4.8.1. ロックする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
4.8.2. ロックを解除する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
4.9. USB コネクタの使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
5. 組立・調整・分解 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
5.1. 部位の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
5.2. 組立方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
5.2.1. ドライブベースとメインボディの組み立て ・・・・・・・・・・ 75
5.2.2. ショッピングバスケットの取り付け ・・・・・・・・・・・・・ 76
5.2.3. シートの組み立て ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
5.2.4. バッテリーの取り付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
5.3. 調整方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81
5.3.1. アームの長さ調整 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82
5.3.2. コントローラーボックスとスイッチボックスの左右交換 ・・ 83
5.3.3. シートの高さ調整 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88
5.3.4. バックサポートの高さ調整 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
5.3.5. バックサポートの角度調整 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92

5.4. 分解方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 93
5.4.1. バッテリーの取り外し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
5.4.2. シートの取り外し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95
5.4.3. ショッピングバスケットの取り外し ・・・・・・・・・・・・ 97
5.4.4. ドライブベースの取り外し ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 98
6. 運搬・保管方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100
6.1. 保管 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100
6.2. 運搬 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101
6.2.1. 各部位の持ちかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・102
7. スマートフォンアプリのダウンロード方法 ・・・・ 104
8. 保守・点検 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 106
8.1. お手入れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 106
8.2. スマートキーの電池交換 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 106
8.3. コントローラーヘッドの取り付け ・・・・・・・・・・ 108
8.4. 点検 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 108
8.5. 製造者・取扱店が行う修理・メンテナンス・部品交換 109
8.6 廃棄について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 109
9. トラブルシューティング ・・・・・・・・・・・・・・ 110
10. 仕様・試験結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 112
10.1. 仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 112
10.2. 寸法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 114
索引・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 116
お問い合わせ先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 118

I. 安全上のご注意

WHILL Model C /WHILL Model CK は安全性に十分配慮して設計、製造されていますが、誤った使いかたをしたり、注意事項を守らないと、人体や家財に損害を与える可能性があります。
本製品をご使用になる前に、以降の安全に関する記載事項をよくお読みになり、正しく使用して適切にお取り扱いください。
安全に関する記載事項は､危害や損傷の大きさと切迫の程度を明示するために「警告」と「注意」に区別しています。

⚠ 警　告	
!	●使用中に異常を感じた場合は、ただちに使用を中止し、取扱店または WHILL コンタクトデスクまでご連絡ください。 故障した状態で使用を続けると、身体に悪影響を及ぼすおそれがあります。 ●植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている方は、マグネットコネクタから最低 20cm 以上離れてください。 マグネットコネクタは、シートとメインボディの接続部およびバッテリーとメインボディの接続部にあります。マグネットコネクタの磁気が、医用電気機器の作動に影響を及ぼす可能性があります。 ●植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている方は、スイッチボックスから 15cm 程度以上離れてください。 医用電気機器の作動に影響を及ぼす可能性があります。 ●運転しないときは本体の電源を切ってください。 コントローラーに誤って触れたときに、本体が思わぬ動きをするおそれがあります。 ●初めて使用するときは、使用開始前に必ず本体の損傷を確認してください。 万一、本体が損傷していた場合は、思わぬ事故が発生する可能性があります。

⚠ 警　告

●乗車前に、必ず以下を確認してください。
思わぬ事故が発生する可能性があります。

・ブレーキが解除されていないこと
・転倒防止バーが下がっていること

●乗車前に、分解レバーがロックされていることを確認してください。
分解レバーがロックされていないと、使用中に本体が分解するおそれがあります。また、分解レバーがロックできないときは、ただちに使用を中止し、取扱店にご連絡ください。

●本体から乗り降りする際は、本体の電源を切ってください。
コントローラーに誤って触れたときに、本体の誤動作を引き起こす可能性があります。

●ブレーキをロックした状態で乗車してください。
ブレーキが解除されていると、本体が動き出し、転倒するおそれがあります。

●体がシートに安定しない場合は、常に骨盤ベルト（オプション）を着用してください。
体が本体から落下するおそれがあります。お使いの製品が骨盤ベルトを装備していない場合は、取扱店までお問い合わせください。

●手袋をして操作する場合は、手袋を挟まないように注意してください。
手袋が操作部等に挟まって誤操作の原因になる可能性があります。

●以下に注意して運転してください。
思わぬ事故が発生するおそれがあります。

・周囲や路面状況を十分に確認して運転してください。
・エスカレーターや階段を利用して運転しないでください。
・5cm より高い段差は昇り降りしないでください。
・夜間など視界の悪いところを走行する際は、リアライトの点灯が他者から見えることを、使用前に確認してください。

⚠ 警　告

●人ごみや壁際などの障害物が近くにある場所や、狭い場所など、特に注意が必要な場合は低速でゆっくりと運転してください。
衝突したり、転倒するおそれがあります。

●縁石、段差、勾配などは、90°の角度で侵入し、低速でゆっくり走行してください。
転倒したり、本体が変形する可能性があります。

●平坦ではない道や斜面を走行する際は、低速でゆっくり走行してください。
転倒するおそれがあります。必要に応じて、周囲の人に車体を安定させるための介助を求めてください。

●使用者や周囲の人が、タイヤに触れることがないように走行してください。
怪我をするおそれがあります。

●下り坂で停止するときは、コントローラーから早めに手を離し、余裕を持って停止するように心がけてください。
下り坂では、ブレーキの制動距離が長くなります。思った位置で停止できずに、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

●ブレーキを解除する際は、電源を切ってからブレーキを解除してください。
本体が動き出し、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

●ブレーキの解除は、緊急時のみ行ってください。また、長時間ブレーキを解除しないでください。
ブレーキを解除した状態では、本体が自由に動くため大変危険です。

●ブレーキ解除後に手動での移動が終了したら、ブレーキ解除レバーを上げて、必ずブレーキをロックしてください。
思わぬ事故が発生するおそれがあります。

●荷物の運搬には、必ずショッピングバスケットを使用してください。また、ショッピングバスケット内の側壁または側面の高さを超えないように、荷物を収納してください。
転倒するおそれがあります。

⚠ 警　告

●本体を持ち上げるときは、必ず分解してから持ち上げてください。
本体の重量は約 52kg です。分解しないで持ち上げると、体を痛めたり、落として怪我をしたり、製品が破損するおそれがあります。

●部位を持ち上げるときは、各重量に注意して持ち上げてください。
体を痛めたり、落として怪我をしたり、製品が破損するおそれがあります。

●アームの長さ調整などでアームを上下に動かす際は、指を挟まないように注意してください。
怪我をするおそれがあります。

●フットサポートを上下に動かす際は、接続部に指を挟まないように注意してください。
怪我をするおそれがあります。

●バックサポートの高さ調整などでバックサポートを上下に動かす際は、バックサポートの下部や接続部に指を挟まないように注意してください。
怪我をするおそれがあります。

●ドライブベースとメインボディの組立・分解の際は、必ずハンドル A を持ってください。
分解機構に指を挟んで、怪我をするおそれがあります。

●組立・分解は、平坦で水平な場所で行ってください。
思わぬ事故が発生するおそれがあります。

●転倒防止バーが変形した場合は、必ず交換してください。
転倒防止機能が失われ、本体が転倒するおそれがあります。

●必ずバッテリーを取り外してから調整・分解をしてください。
製品が誤動作するおそれがあります。また、バッテリーを取り外さずに分解した場合、露出したコネクタに金属が接触し本体がリセットされるおそれがあります。本体がリセットされた場合は、バッテリーを一度外してから再度取り付けてください。

●使用開始前にすべての部位がきちんと組み立てられていること、および失くなっていたり、壊れている部位がないか確認してください。
失くなっていたり、壊れている部位があると、使用中の事故や故障の原因となるおそれがあります。

⚠ 警　告

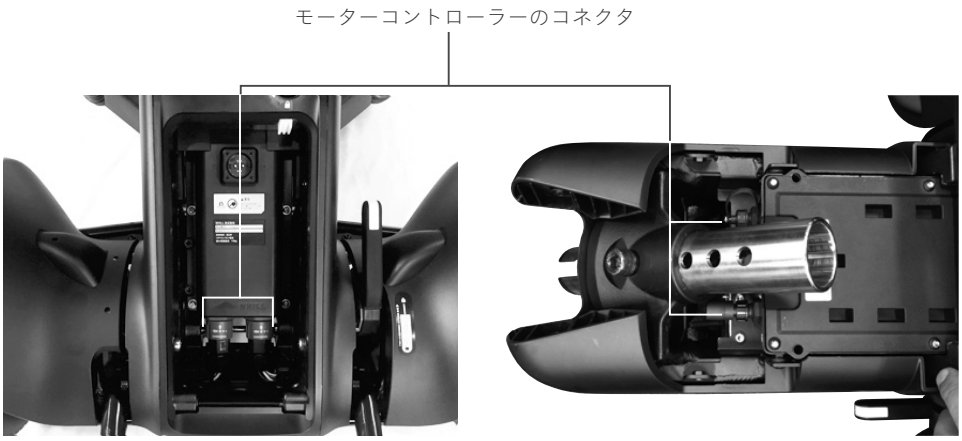
●本製品の耐荷重は 115kg です。耐荷重以上の荷重を掛けないでください。
製品が破損するおそれがあります。

●絶対に、坂道でブレーキを解除しないでください。必ず平坦な場所でブレーキを解除してください。
本体が動き出し、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

●リアライト、スイッチ、ディスプレイ、およびラベルの上からシールを貼ったり、ペイントしないでください。
表示が見えなくなって誤操作の原因となり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

●コネクタやバッテリー接続部を触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。
怪我をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。

●モーターコントローラーのコネクタ、およびキャップを抜かないでください。
本体に異物が入るなどが原因でショートしたり、元に戻すときに差し間違えなどで動作不良を起こしたりするおそれがあります。



バッテリー装着部　　メインボディのシートポストの横

●ホイールから漏れたグリスに、直接手で触れないでください。
皮膚に悪影響を及ぼすおそれがあります。

⚠ 警　告

●乗車中に、かがんだり身を乗り出したりしないでください。重心の移動に気をつけて動作するようにしてください。
本体の安定性やバランスに影響を与える可能性があります。本体の安定性に不安がある場合は、周囲の人に車体を安定させるための介助を求めてください。

●後ろからバックサポートに寄り掛からないでください。
バックサポートが倒れてバランスを失い、転倒するおそれがあります。

●破損した部品がある場合は、使用しないでください。
尖った角などで怪我をするおそれがあります。部品の交換については、取扱店にご相談ください。

●アームの回転部分やタイヤなどに絡まりやすい服などを身につけて操作することは避けてください。
服が巻き込まれて転倒したり、操作ができない状態になるおそれがあります。

●コントローラーに座ったり、取り外したシートを上下逆に置くなどして、コントローラーに過度な負荷をかけないでください。
コントローラーが破損して、本体の操作ができなくなる可能性があります。

●スイッチを強い力で押したり、鋭利な物で操作しないでください。
スイッチボックスが損傷し、本体の操作ができなくなる可能性があります。

●スイッチボックスやコントローラーボックス、およびアクセサリーポストには体重を掛けないでください。
部品が外れたり、本体の操作ができなくなる可能性があります。

●フットサポートに飛び乗ったり、重い荷物を抱えたままフットサポートに乗るなど、フットサポートに過大な重量を掛けないでください。
本体が浮き上がり、転倒するおそれがあります。

●運転中はフットサポートから足を出さないでください。
足が巻き込まれる可能性があります。走行中は、足をフットサポートに収めるようにしてください。

⚠ 警　告	
	●フットサポートが上がった状態で、運転しないでください。 足が巻き込まれる可能性があります。 ●手に物を持ったり、膝の上に物を置いて運転しないでください。 誤操作や転倒の可能性があります。 ●砂地や沼地等の柔らかい路面を走行しないでください。 本体がスタックする可能性があります。 ●水たまりなどを走行しないでください。 錆びたり、ショートする可能性があります。 ●手足や荷物を本体の外に出さないでください。 走行時にぶつけたりして怪我をするおそれがあります。 ●荷物をけん引しないでください。 転倒するおそれがあります。 ●本書で説明している部位以外の分解・調整・修理を行わないでください。 お客様ご自身でそれらを行うと、安全性に重大な影響を与えるおそれがあります。シートの長さまたはアームの位置を調整したい場合は、取扱店にお問い合わせください。トレーニングを受けたサービスマンが、安全に配慮したメンテナンスを行います。 ●本体に人が乗ったままの状態で、分解・調整・修理を行ったり、本製品を持ち上げないでください。 製品が破損したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。 ●本製品を自動車などの座席として使用しないでください。 製品が破損したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
	●本体や付属品を改造しないでください。 本書に記載されていない内容の修理や改造を行った場合、保証の対象外となる場合があります。

⚠ 注　意

●連絡手段として、携帯電話などの通信機器を常に携帯することをお勧めします。
万一、事故が発生した場合に、介助を求めることができなくなるおそれがあります。

●部品を失くした場合は、ただちに使用を中止し、取扱店にご連絡ください。
製品が損傷したり、操作ができなくなる可能性があります。

●充電ポートや USB コネクタを使用しないときは、必ずキャップを閉めてください。
異物が侵入し、ショートする可能性があります。

● USB ケーブルを接続する際は、コネクタに異物がないか確認してください。
コネクタに異物が挟まっていると充電できません。

● USB コネクタを使用しないときは、必ず保護キャップをしてください。
水などが侵入して USB 端子が錆びると、充電できなくなります。

●お手持ちのクッションなどを使用する場合は、安全のため、難燃性試験に合格した物をお使いください。

●電源が入らない場合は、マグネットコネクタの接触を確認してください。
マグネットコネクタは、シートとメインボディの接続部およびバッテリーとメインボディの接続部にあります。

●以下に注意して運転してください。
思わぬ事故が発生するおそれがあります。

・アームがロックされていることを確認してから、操作を開始してください。
・坂道を走行する際は、速度を落としてください。

●道路の凹凸は、低速でゆっくり走行してください。
誤操作を引き起こすおそれがあります。

⚠ 注　意

●道路は歩道を走行してください。
本製品は、車道、および雪道や凍結した路面での使用を想定していません。車道を横断するときは、ドライバーに見えているか確認し、十分注意して横断してください。

●ブレーキ解除後に本体を移動させるときは、手でゆっくり押して動かしてください。
ブレーキを解除すると本体が自由に動くため、強く押すと思わぬ方向に動く可能性があります。

●以下に注意して、ショッピングバスケットを使用してください。
思わぬ事故が発生するおそれがあります。

・荷物の出し入れは、電源を切ってから行ってください。
・荷物を取り出す際は、アクセサリーポストからフックが外れていることを確認してください。また、フックの付け外しは手で行ってください。

●組立・調整・分解・運搬の際は、本書で説明している持ち手部分を持ち、ほかの部分は持たないでください。
手を挟んで怪我をするおそれがあります。

●組み立ての際は、マグネットコネクタが汚れていないことを確認してください。
マグネットコネクタが汚れていると、電気が通らず、電源が入らない可能性があります。マグネットコネクタは、シートとメインボディの接続部およびバッテリーとメインボディの接続部にあります。

●安全に使用するために、以下に注意して調整してください。
思わぬ事故が発生するおそれがあります。

・必ず体に合うように調整してからご使用ください。
・調整時にねじの締め忘れに気をつけてください。
・調整を行う際は必ず本体から降りてください。
・調整を行う前に、必ず本体からバッテリーを外してください。

⚠ 注　意

●走行前にショッピングバスケットのフックがアクセサリーポストにかかっていることを確認してから、走行を開始してください。
走行中に荷物が落下する可能性があります。

●平坦な場所に保管してください。
本体が破損する可能性があります。

●航空機に乗る場合は、事前に電動車いすを使用することを航空会社に連絡し、搭乗方法についての説明を受けて航空会社の指示に従ってください。
事前連絡を怠ると、搭乗手続きに時間を要する可能性があります。

●自動車のトランク等に載せる場合は、きちんと固定してください。
本体が破損する可能性があります。

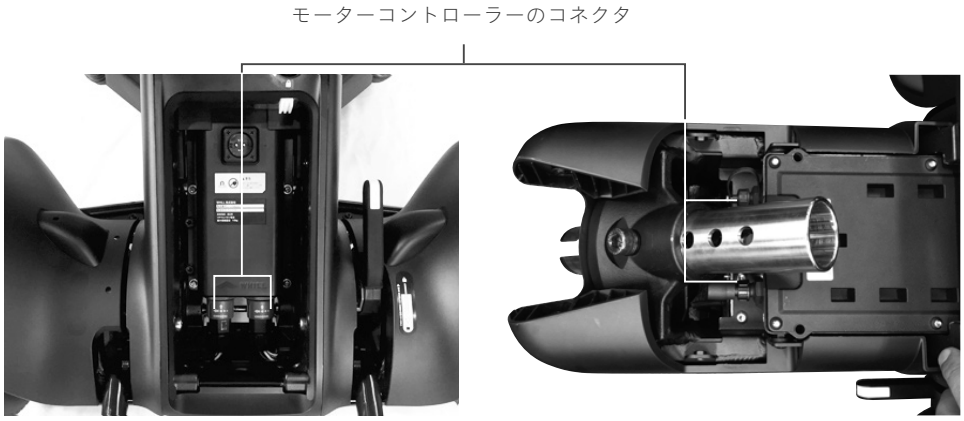
●本体の運搬にリフトを使用する場合は、きちんと固定してください。
落下して、本体が破損する可能性があります。

●部品が摩耗したり、交換が必要な場合は、取扱店にご連絡ください。
製品が損傷したり、操作ができなくなる可能性があります。

⚠ 注　意

●バッテリーや本体を傾いた場所、振動の多い場所、高い棚の上などに置かないでください。
バッテリーや本体が破損したり、変形するおそれがあります。

●モーターコントローラーのコネクタに触れないでください。また、バッテリーを勢いよく外したり、取り付けたりしないでください。
バッテリーやモーターなど、本体の一部が故障するおそれがあります。



バッテリー装着部　　メインボディのシートポストの横

●コントローラーに荷重を掛けたり、鋭利な物で傷つけないでください。
コントローラーボックスが損傷し、本体の操作ができなくなる可能性があります。

●取り外したスイッチボックスやコントローラーボックスを投げる、踏むなどして強い衝撃を加えたり、水に浸さないでください。
スイッチやコントローラーが破損し、本体の操作ができなくなる可能性があります。

⚠ 注　意

●ディスプレイを引っ掻いて傷をつけたり、汚れた手で触らないでください。
ディスプレイの表示が見えなくなるおそれがあります。

●スピーカーの上にシールを貼るなどして、スピーカーをふさがないでください。
お知らせの音声や通知音が聞こえない可能性があります。

●横方向から力を掛けないでください。
本体が滑る可能性があり危険です。横から強く押したり引いたりしないでください。

●アームやアームサポートに座ったり、荷物を掛けないでください。
アームやアームサポートが変形したり、破損する可能性があります。

●バックサポートに重量物を掛けないでください。
バックサポートの耐荷重は 5kg です。耐荷重以上の荷物を掛けると、バックサポートが破損する可能性があります。

●シートの高さ調整の際は、シートポストを強く引っ張らないでください。
シートポストの中にケーブルが入っています。シートポストを強く引っ張ると、中のケーブルが断線するおそれがあります。

●シート底面にあるケーブルに、鋭利な物を押し付けたり、負荷をかけたりしないでください。
ケーブルが断線するおそれがあります。

●埃や砂が多い場所、および海沿いや温泉地で長期間保管しないでください。
本体に異物が侵入したり、フレームやねじが腐食する可能性があります。

●重いものを本体に載せたまま長期間保管しないでください。
本体が故障する原因となります。

●直射日光や雨にさらされる屋外に、本体やショッピングバスケットを保管したり、長時間放置しないでください。
雨水で本体がショートしたり、直射日光で本体やショッピングバスケットが変形、劣化する可能性があります。屋内など屋根のある場所に保管してください。

⚠ 注　意
●お手入れの際にシンナー、ベンジン等の有機溶剤を使用したり、高圧洗浄を行ったりしないでください。 変色、変形、劣化、破損などの原因となります。 ●先の尖った物でスピーカーの穴をお手入れしないでください。 スイッチボックスが破損する原因となります。 ●スイッチボックスやコントローラーボックスは分解しないでください。 スイッチボックスやコントローラーボックスが故障する原因となります。 ●ラベルは絶対に剥がさないでください。 重要な情報が記載されています。 ●本体の可動部や接続部に市販のグリス等を塗布しないでください。 べたつきなどで砂利など異物が本体に入り込み、本体が故障するおそれがあります。

■バッテリーと充電器に関するご注意

⚠ 警　告	
	●バッテリーと充電器に関する本書の説明をよく読み、指示を守ってください。 誤った使いかたをすると、怪我をしたり、バッテリーや充電器が破損するおそれがあります。
	●バッテリーや充電器が、体に触れた状態で充電しないでください。 低温やけどのおそれがあります。
	●バッテリーや充電器は、絶対に分解しないでください。 爆発するおそれがあります。
	●本製品のコネクタには絶対に触れないでください。 重傷、感電を招くおそれがあります。また、本製品の保証が無効になります。 ●充電器には、延長コードを使用しないでください。 感電や、ショート、発火の原因となります。 ●電源コードは、無理な力で引っ張らないでください。 感電や、ショート、発火の原因となります。 ●家庭用電源で充電してください。 感電や、ショート、発火の原因となります。100-240V、50-60Hz の壁面コンセントを使用して充電してください。 ●濡れた手で充電しないでください。 感電するおそれがあります。
	●バッテリーや充電器を火気に近づける、濡らす、衝撃を与える（落とす、釘を刺す、踏む等）などの行為は避けてください。 火災の原因となったり、バッテリーが爆発するおそれがあります。

⚠ 注　意	
	●温度 0 ～ 40℃の環境で充電してください。 指定以外の温度環境で充電すると、バッテリーが劣化したり、損傷する可能性があります。 ●使用後は、毎回充電するよう心がけてください。 次回乗車時に満充電のバッテリーを使用することにより、バッテリー残量不足になることを防止できます。 ●長期間使用しない場合は、少なくとも 3 ヶ月に I 回は必ず充電してください。 そのまま放置すると、バッテリーが過放電する可能性があります。
	●ブレーキが解除された状態でバッテリーを充電しないでください。 本体が動き、思わぬ事故が発生するおそれがあります。 ●バッテリーを、本体から取り外した状態で、長時間放置しないでください。 バッテリーが劣化する可能性があります。やむを得ずバッテリーを取り外した状態が長時間続くようであれば、必ず充電ポートのキャップを閉じてください。
	●本製品に同梱されている充電器と電源コードを使用してください。 指定以外の充電器と電源コードを使用すると、感電したり、充電器が発熱してやけどをするおそれがあります。 また、本製品に同梱されている充電器と電源コードを本製品以外で使用することはできません。

I.I. ご使用にあたっての注意

WHILL Model C /WHILL Model CK は電動車いすです。本書に記載の内容を正しく理解してから使用を開始してください。電動車いすの使用が困難な方のご使用は控えてください。また以下に注意してお取り扱いください。

- 一般の舗装路や室内での使用が想定されております。
- 介助者が本製品を操作する場合は、本書をよく読み、使用上の注意等を十分理解して、本製品を使用してください。また、介助が困難な場合は、操作は控えてください。

I.2. EMI（電磁波干渉）について

電波が原因で、本製品が想定外の動きをすることがあります。電波は電磁（EM）エネルギーの一形態であり、電子装置の動作に悪影響を与える場合があり、その現象は電磁干渉（EMI）または電波干渉（RFI）として知られています。電波が本製品の制御機能に干渉するおそれがあります。
本製品の操作部を操作していないのに動いたり止まったりするなど、本製品が想定外の動作を行った場合は、次のようにしてください。

- そのときに操作部をどのように操作していたか記録する。
- 操作部を使用して起動できなかった本製品の動作を記録する。
- 本製品の近くにある携帯電話などの電波発生源となり得る周囲の電子装置を記録する。

これらの記録を基に電波干渉の原因を考え、原因を取り除いてください。それでも解決しないときは、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご相談ください。その際、記録したメモをお手元にご用意ください。

電波干渉を受けたと考えられる場合は、電源を切ってバッテリーを取り外してください。

I.2.I. 一般的な質問と回答

本製品が EMI（電磁干渉）や RFI（電波干渉）を受けるのをできる限り避けるため、一般的な質問とその回答を以下に示しますので参考にしてください。

●電波はどこから来るのですか？

電波は、一方向または双方向の無線機器から放射されます。このような機器としては、トランシーバー、携帯電話、無線コンピューターリンク、マイクロ波発生源、無線呼出送信機などがあります。電波は電磁（EM）エネルギーの一形態であり、送信アンテナに近いほどエネルギーは強くなります。この電磁場が、電動装置の利用者にとって問題を引き起こす可能性があります。

●電動車いすが EMI や RFI の影響を受けるとしたら、どのような動きを想定しておく必要がありますか？

EMI や RFI は動的変化が非常に大きく、次のような条件によっては電動車いすに影響を与える可能性があります。

- 電波の周波数と強さ
- 電源装置の構造
- 電動車いすの傾き（地面が水平か斜面か）
- 電動車いすの電源が入っているか否か、動いているか否か

本製品が影響を受けた場合、異常な動きを示す可能性があります。勝手に動き出したり急停止したりする可能性もあります。EMI や RFI の発生源が強い場合は制御システムを損傷する場合さえあります。

I.3. 警告ラベルの貼付位置

本体を操作するにあたって、危険性の存在する箇所に警告ラベルを貼り付けています。また、レバーや鍵のロック、および解除位置や、部位の調整方法など、操作の際に参考となる情報をラベルで示しています。
以下に各ラベルの種類と貼付け位置について説明します。

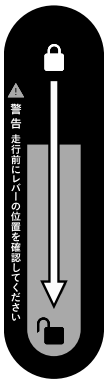
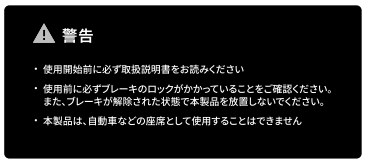
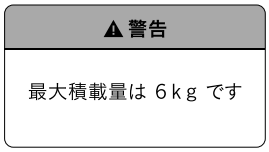
⚠ 注　意
●ラベルは絶対に剥がさないでください。 重要な情報が記載されています。

I.3.1. ラベルの種類

■ 警告ラベル

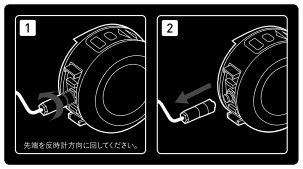
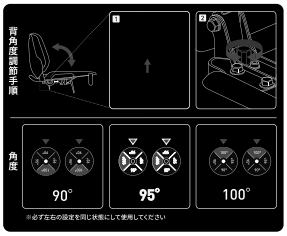
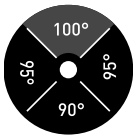
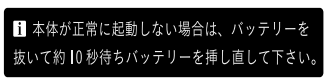
本体に使用されている警告ラベルの種類と意味を説明します。

記号	ラベル	意味
A		本体のシートとメインボディの接続部およびバッテリーとメインボディの接続部に、マグネットコネクタがあります。マグネットコネクタの磁気が、医用電気機器の作動に影響を及ぼす可能性があります。 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている方は、マグネットコネクタから最低 20cm 以上離れてください。
B		本体には、高温になる部分があります。手で触れるとやけどをするおそれがあります。 表面が熱くなることがありますので、触らないでください。
C		取り外したシートを上下逆に置いたりすると、コントローラーが破損して、本体の操作ができなくなる可能性があります。 シートを床に置くときはクッション面を上にして、コントローラーに過度な負荷をかけないようにしてください。

記号	ラベル	意味
D		本体の接続部や可動部に指などを挟むと、怪我をするおそれがあります。 本体の組立・調整・分解・運搬の際は、本書で説明している部分以外は触れないでください。
E		本体分解レバーのロック位置と解除位置を表示しています。 走行前に本体分解レバーがロックされていることを確認してください。
F		使用前の注意事項を表示しています。 ・使用開始前に必ず取扱説明書を読むこと ・使用前にブレーキのロックがかかっていることを確認すること ・ブレーキが解除された状態で本製品を放置しないこと ・本製品を自動車などの座席として使用しないこと
G		ショッピングバスケットの最大積載量は 6kg です。 耐荷重以上の荷物を収納すると、ショッピングバスケットやアクセサリーポストが破損する可能性があります。 最大積載量を超えないように荷物を収納してください。

■ その他のラベル

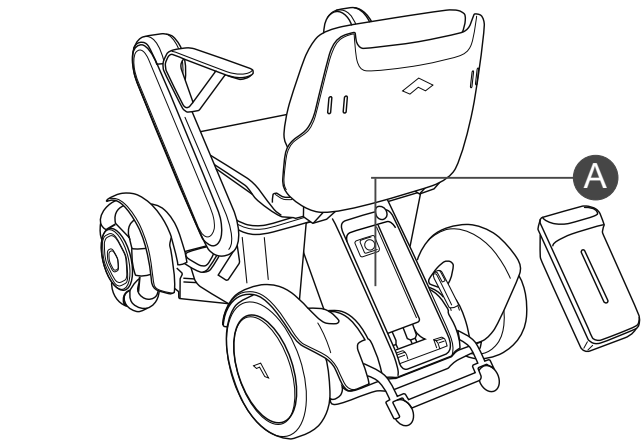
本体に使用されているその他ラベルの種類と表示内容を説明します。

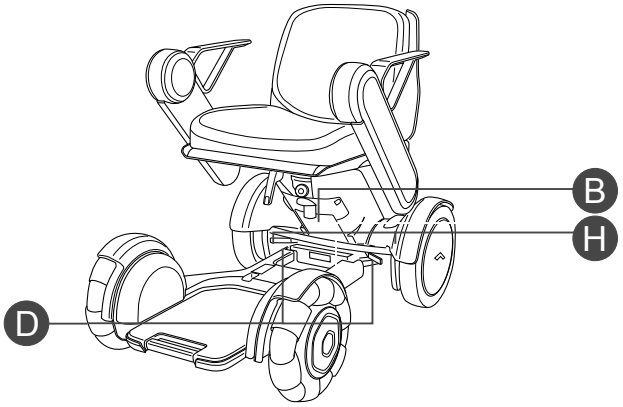
記号	ラベル	意味
H		ブレーキ解除レバーのロック位置と解除位置を表示しています。
I		アームの長さの調整位置を表示しています。アームの長さは 4 段階で調整することができます。
J		コントローラーボックス、およびスイッチボックスからコネクタを取り外す手順を表示しています。 コントローラーボックスとスイッチボックスの左右を入れ替えるときに、コネクタの着脱作業を行います。
K		バッテリー取り外しキーのロック位置と解除位置を表示しています。
L		本体の分解手順を表示しています。
M		シートの差し込み位置を表示しています。 シートをメインボディに取り付ける際に、シートを差し込む位置の目安になります。
N		バックサポートの角度の調整手順を表示しています。また、調整できる角度（90 度、95 度、100 度）の設定位置を示しています。
O		バックサポートの角度を調整する際に確認する参照点を表示しています。
P		バックサポートの角度の調整位置（90 度、95 度、100 度）を表示しています。
Q		注意事項を表示しています。 本体が正常に起動しない場合は、バッテリーを抜いて約 10 秒待ちバッテリーを挿し直してください。

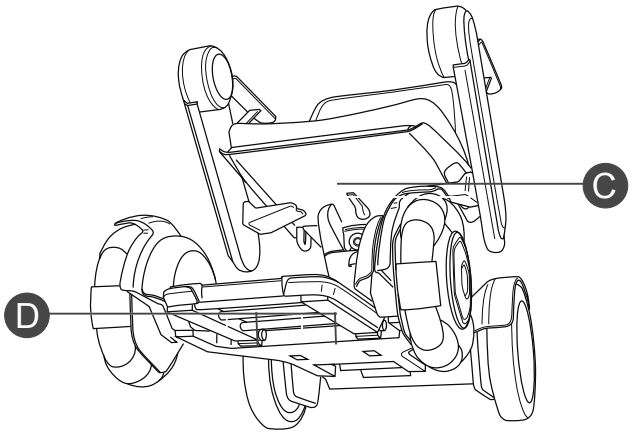
I.3.2. ラベルの貼付位置

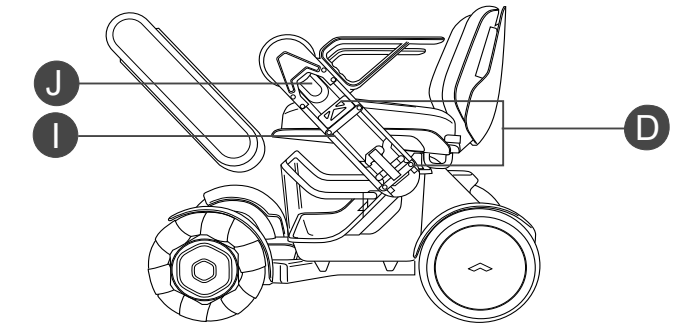
各ラベルの貼り付け位置を以下の図に示します。

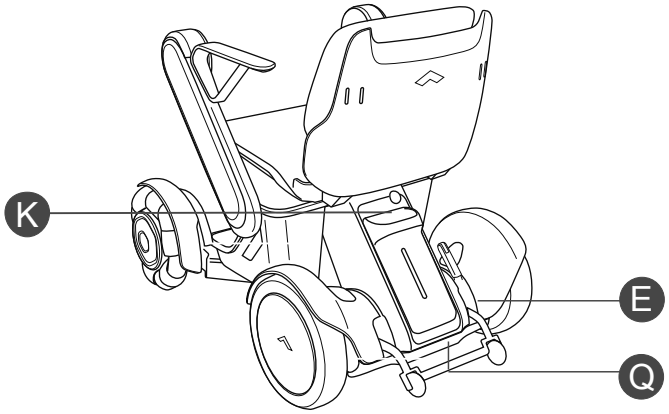
■ 本体

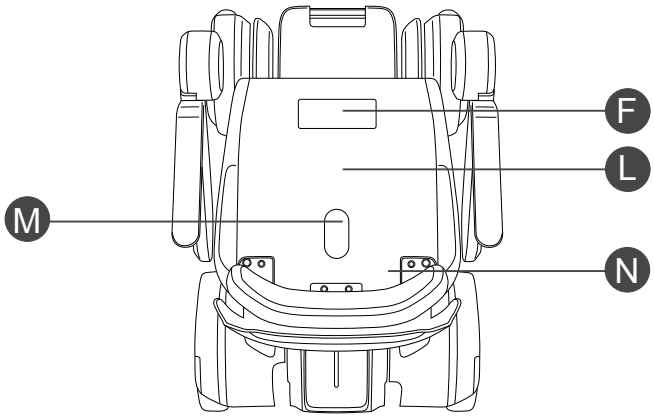




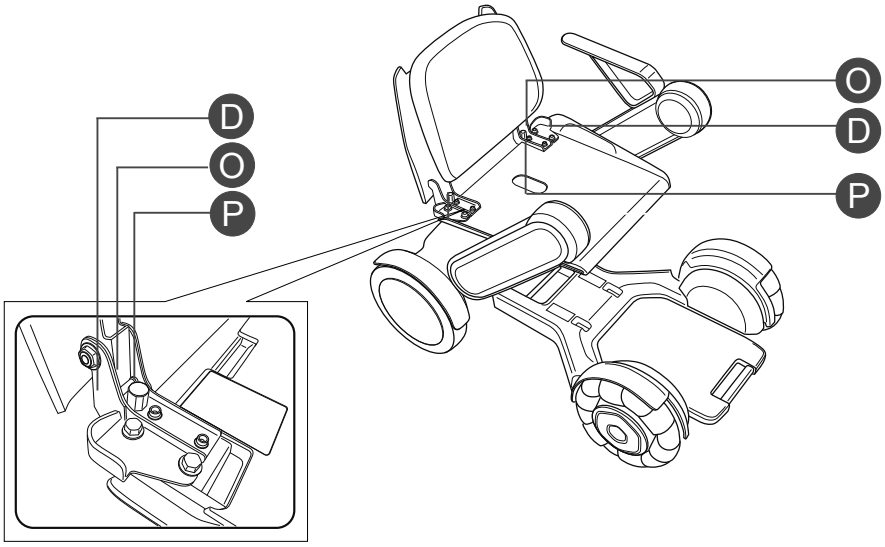






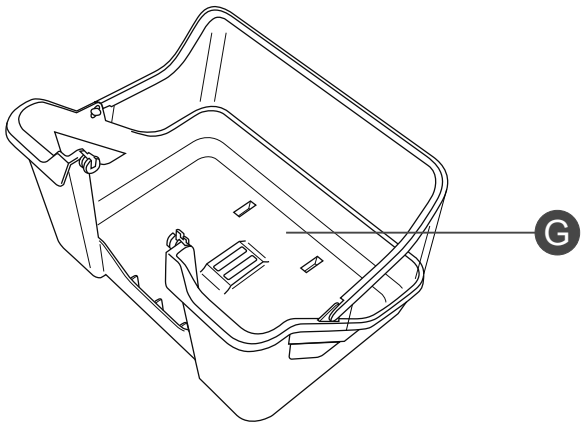


シート上部



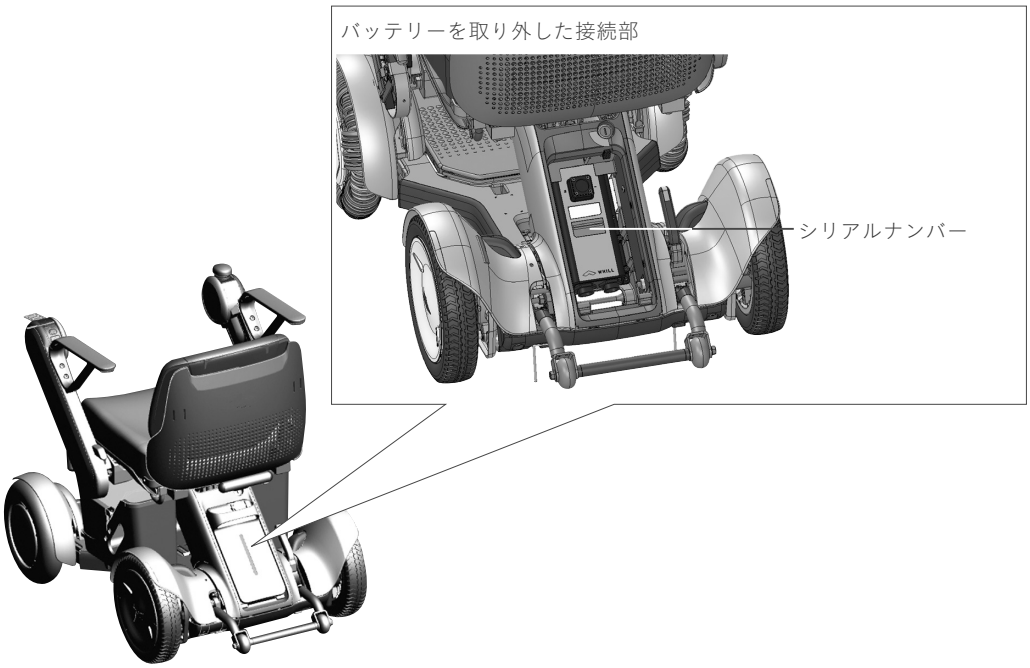
座面クッションを取り外した部分

■ ショッピングバスケット



I.4. シリアルナンバーの貼付位置

シリアルナンバーの貼り付け位置を以下の図に示します。



2. 製品について

本製品は、自操用標準形の電動車いすで、道路交通法第 I 章（総則）第 2 条（定義）第 I 項　II 号の 3 「身体障がい者用の車いす」に該当します。車いすの用途以外には、使用しないでください。

2.I. 内容物の確認

本製品には本体を含む以下の内容物があります。納入後は、不足している物や損傷がないか、必ず確認してください。万一、不足している物があったり、本製品が損傷している場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご連絡ください。

- WHILL Model C /WHILL Model CK（バッテリー、ショッピングバスケットを含む）
- 充電器
- スマートキー
- 取扱説明書（本書）

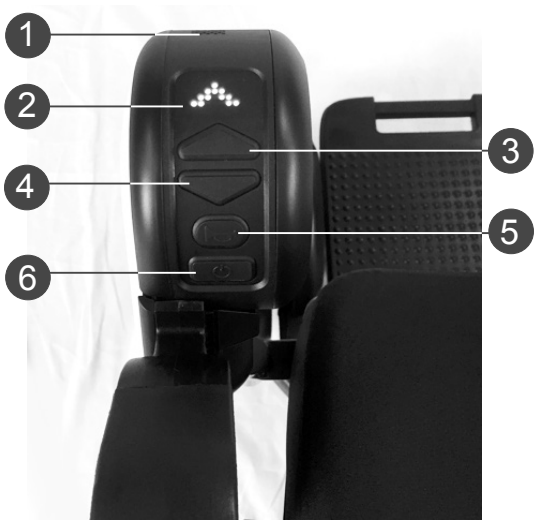
開梱するときは、外装を傷つけないように注意してください。

2.2. 各部の名称・はたらき

■ 外観図

※写真は右利き用モデル

記号	名称	説明	画像
Ⓐ	バックサポート	背もたれです。	
Ⓑ	アーム	左右に斜めに伸びる部分です。 先端に、コントローラーボックス（c）とスイッチボックス（e）が取り付けられています。	
Ⓒ	コントローラーボックス	コントローラーが取り付けられている円形のユニットです。 本体を前後左右に操作したり、コントローラーの傾き加減で速度の調整もできます。	
Ⓓ	アームサポート	肘掛けです。	

記号	名称	説明	画像
E	スイッチボックス	各スイッチが取り付けられている円形のユニットです。 以下の機能が操作できます。 1. スピーカー 2. ディスプレイ 3. 速度調整スイッチ（加速） 4. 速度調整スイッチ（減速） 5. サウンドボタン 6. 電源ボタン	
F	シート分解レバー	シートとメインボディを分解するためのレバーです。	
G	ショッピング バスケット	荷物を入れられるバスケットです。 座面の下に取り付けて使用します。	
H	後輪	本体後方のタイヤです。	

記号	名称	説明	画像
Ⓘ	前輪 (オムニホイール)	本体前方のタイヤです。	
Ⓙ	ブレーキ解除 レバー	シートの下にある、後輪のブレーキを解除するためのレバーです。	
Ⓚ	フットサポート	座ったときに、足を置く台です。	
Ⓛ	USB コネクタ	USB ケーブルを接続するポートです。	
Ⓜ	リアライト	バッテリーに縦に配置された赤い LED ライトです。	

記号	名称	説明	画像
Ⓝ	バッテリー	リチウムイオン電池です。	
Ⓞ	本体分解レバー	メインボディとドライブベースを分解するためのレバーです。	
Ⓟ	転倒防止バー	本体が後方に転倒することを防ぐためのバーです。	
	充電器	バッテリーの充電に使用します。	
	スマートキー	本体に鍵をかけます。	

2.3. アクセサリー

アクセサリーは、必ず純正品をご使用ください。

本製品に取り付け可能なアクセサリーについては、取扱店または WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。

また WHILL 株式会社ウェブサイト（http://whill.jp）もご覧ください。

3. バッテリーの充電

当社の電動車いすを初めてご使用になるときは、必ずバッテリーを充電してからご使用ください。
また、外出の前や長期間使用しなかった場合も充電してからご使用ください。
本製品は、理想的な条件で最大 16km 走行できるように設計されていますが、走行可能距離は、坂道、カーブ、段差、地形、運転習慣、荷重、温度などの走行条件により異なります。本製品を長時間使用するために、次の点に注意して使用することをお勧めします。

- 出掛ける前に必ず満充電にしておく
- 荷物の重量をできる限り減らす
- 坂や障害物のない経路を通るように計画する
- 速度を一定に保ち、急停止や頻繁な停止を避ける

⚠ 警　告	
	●バッテリーと充電器に関する本書の説明をよく読み、指示を守ってください。 誤った使いかたをすると、怪我をしたり、バッテリーや充電器が破損するおそれがあります。
	●バッテリーや充電器は、絶対に分解しないでください。 爆発するおそれがあります。
	●本製品のコネクタには絶対に触れないでください。 重傷、感電を招くおそれがあります。また、本製品の保証が無効になります。
	●バッテリーや充電器を火気に近づける、濡らす、衝撃を与える（落とす、釘を刺す、踏む等）などの行為は避けてください。 火災の原因となったり、バッテリーが爆発するおそれがあります。

⚠ 注　意
●充電ポートや USB コネクタを使用しないときは、必ずキャップを閉めてください。 異物が侵入し、ショートする可能性があります。 ●使用後は、毎回充電するよう心がけてください。 次回乗車時に満充電のバッテリーを使用することにより、バッテリー残量不足になることを防止できます。
●バッテリーを、本体から取り外した状態で、長時間放置しないでください。 バッテリーが劣化する可能性があります。やむを得ずバッテリーを取り外した状態が長時間続くようであれば、必ず充電ポートのキャップを閉じてください。 ● USB コネクタのキャップを強い力で引っ張らないでください。 キャップが破損するおそれがあります。 ●本製品に同梱されている充電器で、ほかの電池を充電しないでください。 充電器が損傷するおそれがあります。

・充電器は屋内専用です。屋外でバッテリーを充電しないでください。
・バッテリーに関するお問い合わせは、取扱店または WHILL コンタクトデスクまでご連絡ください。

3.1. 各部の名称

■バッテリー

本製品は、電圧 25.2V のリチウムイオンバッテリーを使用しています。

(Model C をご利用のお客様) バッテリーを廃棄する際は、リサイクル協力店へお持ちください。

(Model CK をご利用のお客様) 取扱店へお持ちください。

■充電器

3.2. 充電方法

初めてご使用になるときや、外出の前、長期間使用しなかった場合は、必ずバッテリーを充電してからご使用ください。

バッテリーを充電するには、本体にバッテリーを取り付けたまま行う場合と、バッテリーを本体から取り外して行う場合の 2 通りの方法があります。

- バッテリーを充電しながら本製品を使用できません。
- 充電時間の目安は、約 5 時間です。
- 充電器は過充電を防止できるように設計されています。5 時間以上コンセントに差し込んでも製品を損傷する心配はありませんが、安全のため、長期間壁面コンセントに充電器を差し込んでおくことは避けてください。

⚠ 警　告	
	●バッテリーや充電器が、体に触れた状態で充電しないでください。 低温やけどのおそれがあります。 ●コネクタやバッテリー接続部を触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。 怪我をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。
	●充電器には、延長コードを使用しないでください。 感電や、ショート、発火の原因となります。 ●電源コードは、無理な力で引っ張らないでください。 感電や、ショート、発火の原因となります。 ●家庭用電源で充電してください。 感電や、ショート、発火の原因となります。100-240V、50-60Hz の壁面コンセントを使用して充電してください。 ●濡れた手で充電しないでください。 感電するおそれがあります。

⚠ 注　意	
	●ブレーキが解除された状態でバッテリーを充電しないでください。 本体が動き、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
	●温度 0 ～ 40℃の環境で充電してください。 指定以外の温度環境で充電すると、バッテリーが劣化したり、損傷する可能性があります。 ●長期間使用しない場合は、少なくとも 3 ヶ月に 1 回は必ず充電してください。 そのまま放置すると、バッテリーが過放電する可能性があります。
	●本製品に同梱されている充電器と電源コードを使用してください。 指定以外の充電器と電源コードを使用すると、感電したり、充電器が発熱してやけどをするおそれがあります。 また、本製品に同梱されている充電器と電源コードを本製品以外で使用することはできません。

3.2.1. バッテリーを本体に取り付けたまま充電する場合

安全のため、充電中に本体の電源を入れることはできません。

1. 本体をコンセントの近くに移動させます。

2. 本体の電源を切ります。

3. 充電器と電源コードを接続します。

4. 壁面コンセントに充電器のプラグを差し込みます。
   充電ランプが赤点灯します。

5. 充電ポートのキャップを外し、充電コネクタをバッテリーの充電ポートに接続します。
   充電ランプが緑点滅し、充電が開始されます。
   充電コネクタの向きを確認して、接続してください。

6. 充電ランプが緑点灯したら、充電完了です。

7. 壁面コンセントからプラグを抜き、バッテリーから充電コネクタを抜きます。

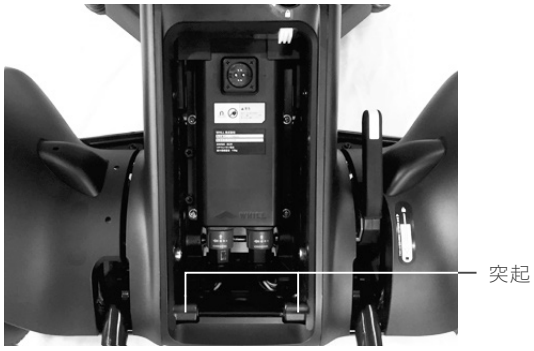
8. 充電ポートのキャップを閉じます。

3.2.2. バッテリーを外して充電する場合

1. 本体の電源が切れていることを確認します。

2. バッテリー上部の鍵穴にキーを差し込み、キーをまわしてバッテリーのロックを解除します。

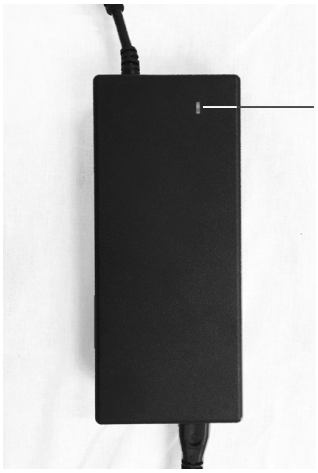
3. 取っ手を持って手前に引き、バッテリーを取り外します。
   取っ手を手前に引き、バッテリーを持ち上げるようにして、下部の突起から取り外してください。



> バッテリーは 2.8kg の重量があります。落とさないように注意して取り外してください。足の上に落として怪我をしたり、バッテリーが損傷するおそれがあります。

4. 充電器と電源コードを接続します。

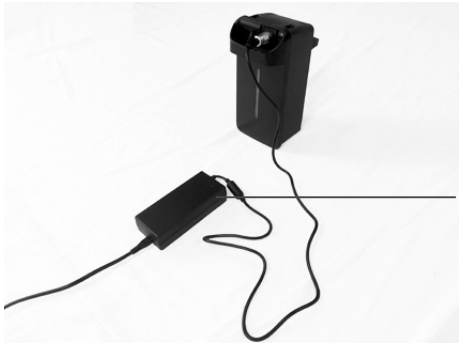
5. 壁面コンセントに充電器のプラグを差し込みます。
充電ランプが赤点灯します。



充電ランプが赤点滅する場合は、コネクタがきちんと接続されていません。
再度、接続し直してください。

6. 充電ポートのキャップを外し、充電コネクタをバッテリーの充電ポートに接続します。
充電が開始されると、以下のランプが点滅します。
・バッテリー：バッテリーゲージが点滅
・充電器：充電ランプが緑点滅
充電コネクタの向きを確認して、接続してください。

充電ランプが緑点滅しない場合は、コネクタがきちんと接続されていません。再度、接続し直してください。



7. バッテリーゲージが消灯、および充電ランプが緑点灯したら、充電完了です。

8. 壁面コンセントからプラグを抜き、バッテリーから充電コネクタを抜きます。

9. 充電ポートのキャップを閉じます。

10. バッテリーを本体に取り付けます。
    1) バッテリーの取っ手を持って、取付部下部の突起に合わせます。

> バッテリーは 2.8kg の重量があります。落とさないように注意して取り扱ってください。足の上に落として怪我をしたり、バッテリーが損傷するおそれがあります。

    2) バッテリーの上部を押し込んで取り付けます。

11. キーを左にまわしてロックし、キーを抜き取ります。

3.2.3. 充電ランプの表示

充電器の充電ランプは、状況に応じて以下のように点灯／点滅します。

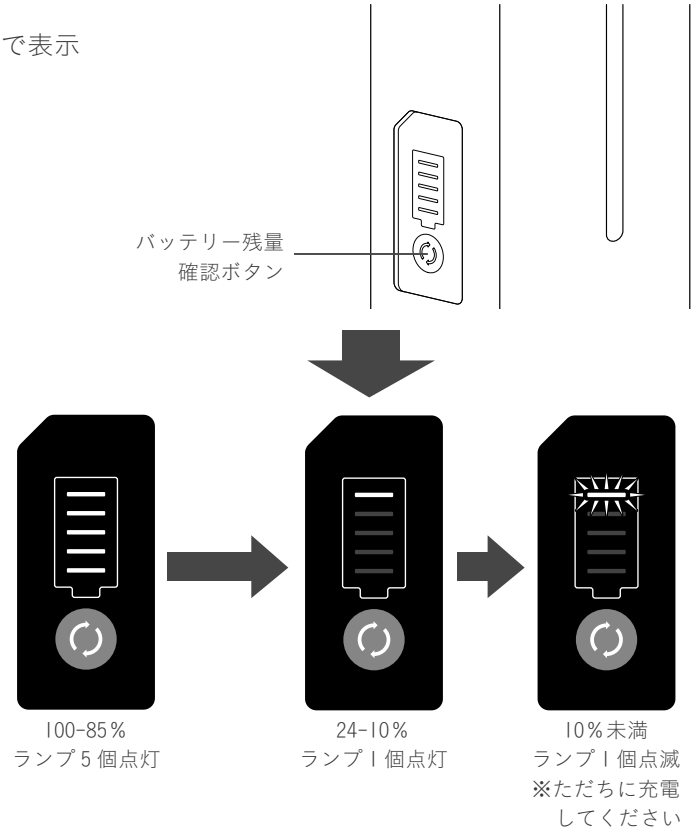
- 緑点滅：充電中
- 緑点灯：充電完了
- 赤点灯：スタンバイ状態
- 赤点滅：充電エラー※

※充電ランプが赤点滅している場合は充電できません。
壁面コンセントからプラグを抜いて、充電ランプが消灯してから再度プラグを接続してください。
それでも解決しない場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。

3.3. 外したバッテリーの残量を確認する

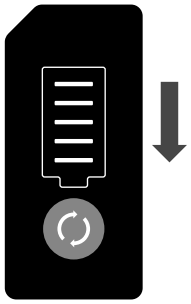
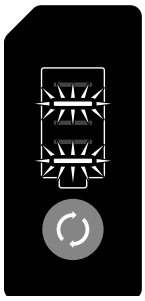
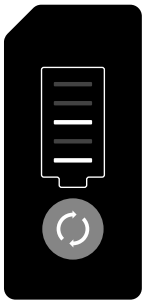
本体からバッテリーを外した状態でも、電池残量を確認することができます。

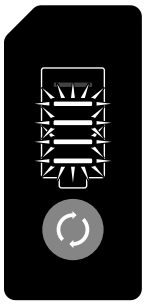
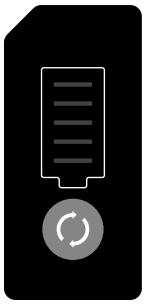
バッテリー残量確認ボタンを押します。
バッテリーゲージに、電池残量が目盛りで表示されます。



3.3.1. バッテリーゲージのエラー表示

バッテリーに異常が発生している場合は、バッテリーゲージが以下のように表示されます。

表示	現象	対処方法
 ゲージが上から下へ順に 点灯を繰り返す	バッテリーの過電流	一旦、本体または充電器からバッテリーを取り外し、再度接続して使用してください。
 上から 2 番目と 5 番目が点滅	バッテリーの温度異常（範囲外）	常温でしばらく保管して、再度使用してください。 それでもエラーが改善しない場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。
 上から 3 番目と 5 番目が点灯	充電温度異常（範囲外） ※充電器接続時のみ	常温でしばらく保管して、再度使用してください。 それでもエラーが改善しない場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。

表示	現象	対処方法
 一番上以外点滅	バッテリーの故障	取扱店または WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。
 ゲージがすべて消灯	充電残量不足	充電してください。 充電してもゲージが表示されない場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。

3.4. バッテリーの保守点検と交換

充電後の使用可能時間が異常に短くなるなど、寿命が近づいてバッテリーの交換が必要であると思われる場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご連絡ください。

4. 操作方法

ここでは、本体の乗車や操作方法、運転方法などについて説明します。

⚠ 警　告	
	●コントローラーに座ったり、取り外したシートを上下逆に置くなどして、コントローラーに過度な負荷をかけないでください。 コントローラーが破損して、本体の操作ができなくなる可能性があります。 ●スイッチを強い力で押したり、鋭利な物で操作しないでください。 スイッチボックスが損傷し、本体の操作ができなくなる可能性があります。 ●スイッチボックスやコントローラーボックス、およびアクセサリーポストには体重を掛けないでください。 部品が外れたり、本体の操作ができなくなる可能性があります。
	●初めて使用するときは、使用開始前に必ず本体の損傷を確認してください。 万一、本体が損傷していた場合は、思わぬ事故が発生する可能性があります。

⚠ 注　意	
	●コントローラーに荷重を掛けたり、鋭利な物で傷つけないでください。 コントローラーボックスが損傷し、本体の操作ができなくなる可能性があります。 ●取り外したスイッチボックスやコントローラーボックスを投げる、踏むなどして強い衝撃を加えたり、水に浸さないでください。 スイッチやコントローラーが破損し、本体の操作ができなくなる可能性があります。
	●長期間使用しない場合は、少なくとも 3 ヶ月に 1 回は必ず充電してください。 そのまま放置すると、バッテリーが過放電する可能性があります。

4.1. 乗車前点検

乗車前に、以下の点検を行ってください。

■点検内容

1. 電源が切れた状態での点検
   - 電源が切れていること
   - すべての部位がきちんと組み立てられていて、失くなっていたり、壊れている部位がないか
   - 破損、ガタつき、錆等がないか
   - 本体外装、アーム、転倒防止バーなどに変形・損傷・緩み・ガタつきがないか
   - 分解部位の連結部分に変形・損傷・緩み・ガタつきがないか
   - コントローラーはスムーズに動かせるか
   - 前輪（オムニホイール）に亀裂が入ったり、摩耗したりしていないか
   - 後輪に亀裂が入ったり、摩耗したりしていないか
   - ブレーキを解除して手動で押すことができるか
   - ブレーキをロックしたときに、本体を押しても動かないか
   - 転倒防止バーが下がっていること
   - 分解レバーがロックされていること
2. 電源を入れた状態での点検
   - バッテリー残量表示を確認し、電池残量が十分なこと
   - スイッチ類が機能しているか
   - ディスプレイが正しく表示されるか
   - サウンドボタンを押したときに音が聞こえるか

上記の点検で、ご自身で解決できない異常がみられた場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご連絡ください。

⚠ 警　告

●乗車前に、必ず以下を確認してください。
思わぬ事故が発生する可能性があります。

・ブレーキが解除されていないこと

・転倒防止バーが下がっていること

○ 下がっている状態

× 上がっている状態

●乗車前に、分解レバーがロックされていることを確認してください。
分解レバーがロックされていないと、使用中に本体が分解するおそれがあります。また、分解レバーがロックできないときは、ただちに使用を中止し、取扱店にご連絡ください。

●使用開始前にすべての部位がきちんと組み立てられていること、および失くなっていたり、壊れている部位がないか確認してください。
失くなっていたり、壊れている部位があると、使用中の事故や故障の原因となるおそれがあります。

⚠ 注　意

●アームがロックされていることを確認してから、操作を開始してください。
走行中にアームが動いて、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

●部品を失くした場合は、ただちに使用を中止し、取扱店にご連絡ください。
製品が損傷したり、操作ができなくなる可能性があります。

4.2. 乗車する

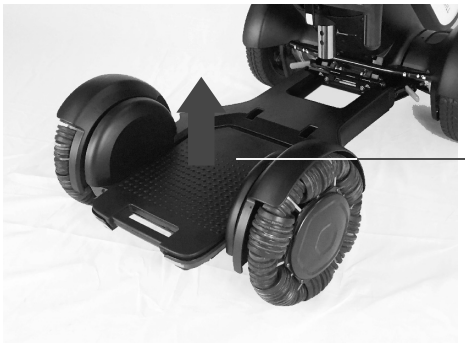
乗車の際は、以下に注意してください。

⚠ 警　告	
	●スイッチボックスやコントローラーボックス、およびアクセサリーポストには体重を掛けないでください。 部品が外れたり、本体の操作ができなくなる可能性があります。 ●フットサポートに飛び乗ったり、重い荷物を抱えたままフットサポートに乗るなど、フットサポートに過大な重量を掛けないでください。 本体が浮き上がり、転倒するおそれがあります。
	●本体から乗り降りする際は、本体の電源を切ってください。 コントローラーに誤って触れたときに、本体の誤動作を引き起こす可能性があります。 ●ブレーキをロックした状態で乗車してください。 ブレーキが解除されていると、本体が動き出し、転倒するおそれがあります。 ●体がシートに安定しない場合は、常に骨盤ベルト（オプション）を着用してください。 体が本体から落下するおそれがあります。お使いの製品が骨盤ベルトを装備していない場合は、取扱店までお問い合わせください。

⚠ 注　意	
	●横方向から力を掛けないでください。 本体が滑る可能性があり危険です。横から強く押したり引いたりしないでください。
	●お手持ちのクッションなどを使用する場合は、安全のため、難燃性試験に合格した物をお使いください。

4.2.1. 前方から乗車する場合

1. フットサポートを上げます。



2. シートに座ります。

- スイッチボックスあるいはコントローラーボックスに手が触れないように注意してください。
- バックサポートは前方に倒れる仕様になっていますので、前方向に引き寄せたり、力を掛けないでください。
  バックサポートが倒れて、思わぬ怪我をするおそれがあります。

3. フットサポートを下げます。

4.2.2. 側方から乗車する場合

座っている椅子などから乗車する場合は、以下のように乗車することをお勧めします。

1. アームを上げます。
   1) アームのロックレバーを引き上げます。
      アームのロックが解除されます。
   2) アームを後方に回転させます。

2. シートに乗車します。

- スイッチボックスまたはコントローラーボックスに手が触れないように注意してください。
- バックサポートは前方に倒れる仕様になっていますので、前方向に引き寄せたり、力を掛けないでください。
  バックサポートが倒れて、思わぬ怪我をするおそれがあります。

3. アームを前方に回転させます。

アームがロックされたことを確認してください。

4.3. 骨盤ベルトを締める（オプション）

お使いの製品が骨盤ベルトを装備している場合は、骨盤ベルトを締めてください。

骨盤ベルトを締めます。

カチッと音がするまで、バックルを留めてください。

体が固定されるように、ベルトを締めて長さを調整してください。

4.4. 電源を入れる

⚠ 警　告
●スイッチを強い力で押したり、鋭利な物で操作しないでください。 スイッチボックスが損傷し、本体の操作ができなくなる可能性があります。
●ブレーキをロックした状態で電源を入れてください。 ブレーキが解除されていると、本体が動き出し、転倒するおそれがあります。

⚠ 注　意
●電源が入らない場合は、マグネットコネクタの接触を確認してください。 マグネットコネクタは、シートとメインボディの接続部およびバッテリーとメインボディの接続部にあります。

電源ボタンを押します。
　電源が入ります。

電源を入れると、ディスプレイに、まず WHILL のロゴが表示され、次に現在の速度設定が表示されます。しばらくすると、バッテリー残量表示に切り替わります。

再度、速度設定を確認したい場合は、電源を入れ直すか、速度調整スイッチを押して速度の調整を行ってください。

WHILL ロゴ　速度設定　バッテリー残量

4.4.1. バッテリー残量を確認する

バッテリー残量は、ディスプレイに 0 〜 100 の数値が 1 刻みで表示されます。

満充電の場合は「100」と表示されます。

4.4.2. 最高速度を調整する

本体の速度は、コントローラーの傾きで調整することができます。

コントローラーを奥まで倒したときの速度（最高速度）の設定は、速度調整スイッチを操作することで、1（遅い）から4（速い）の4段階で変更することができます。

4.4.3. サウンドボタンを使用する

周囲に存在を伝える場合などに、サウンドボタンを押すことで、通知音を鳴らすことができます。

4.5. 運転する

コントローラーを前後左右に倒すことで、任意の方向に移動することができます。コントローラーを倒す角度により、速度を調整することもできます。
コントローラーから手を離すと、自動的にブレーキがかかって停止します。
道路を運転する際は、交通法規、および交通マナーを遵守して、安全に運転してください。

運転の練習をする場合は、見通しの良い広い場所で行ってください。

⚠ 警　告

●手袋をして操作する場合は、手袋を挟まないように注意してください。
手袋が操作部等に挟まって誤操作の原因になる可能性があります。

●以下に注意して運転してください。
思わぬ事故が発生するおそれがあります。

・周囲や路面状況を十分に確認して運転してください。

・エスカレーターや階段を利用して運転しないでください。

・5cm より高い段差は昇り降りしないでください。

・夜間など視界の悪いところを走行する際は、リアライトの点灯が他者から見えることを、使用前に確認してください。

●人ごみや壁際などの障害物が近くにある場所や、狭い場所など、特に注意が必要な場合は低速でゆっくりと運転してください。
衝突したり、転倒するおそれがあります。

●縁石、段差、勾配などは、90°の角度で侵入し、低速でゆっくり走行してください。
転倒したり、本体が変形する可能性があります。

●平坦ではない道や斜面を走行する際は、低速でゆっくり走行してください。
転倒するおそれがあります。必要に応じて、周囲の人に車体を安定させるための介助を求めてください。

⚠ 警　告
●使用者や周囲の人が、タイヤに触れることがないように走行してください。 怪我をするおそれがあります。 ●下り坂で停止するときは、コントローラーから早めに手を離し、余裕を持って停止するように心がけてください。 下り坂では、ブレーキの制動距離が長くなります。思った位置で停止できずに、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

⚠ 警　告
●絶対に、坂道でブレーキを解除しないでください。必ず平坦な場所でブレーキを解除してください。 本体が動き出し、思わぬ事故が発生するおそれがあります。 ●乗車中に、かがんだり身を乗り出したりしないでください。重心の移動に気をつけて動作するようにしてください。 本体の安定性やバランスに影響を与える可能性があります。本体の安定性に不安がある場合は、周囲の人に車体を安定させるための介助を求めてください。 ●アームの回転部分やタイヤなどに絡まりやすい服などを身につけて操作することは避けてください。 服が巻き込まれて転倒したり、操作ができない状態になるおそれがあります。 ●運転中はフットサポートから足を出さないでください。 足が巻き込まれる可能性があります。走行中は、足をフットサポートに収めるようにしてください。 ●フットサポートが上がった状態で、運転しないでください。 足が巻き込まれる可能性があります。 ●手に物を持ったり、膝の上に物を置いて運転しないでください。 誤操作や転倒の可能性があります。 ●砂地や沼地等の柔らかい路面を走行しないでください。 本体がスタックする可能性があります。 ●水たまりなどを走行しないでください。 錆びたり、ショートする可能性があります。 ●手足や荷物を本体の外に出さないでください。 走行時にぶつけたりして怪我をするおそれがあります。 ●荷物をけん引しないでください。 転倒するおそれがあります。

⚠ 注　意

●以下に注意して運転してください。
思わぬ事故が発生するおそれがあります。
・アームがロックされていることを確認してから、操作を開始してください。
・坂道を走行する際は、速度を落としてください。

●道路は歩道を走行してください。
本製品は、車道、および雪道や凍結した路面での使用を想定していません。車道を横断するときは、ドライバーに見えているか確認し、十分注意して横断してください。

●道路の凹凸は、低速でゆっくり走行してください。
誤操作を引き起こすおそれがあります。

走行中にバッテリーの温度が著しく低下すると、バッテリーが低温モードになって、減速度合が変わることがあります。また、低温モード時に坂道を高速走行すると、本体が一旦停止する可能性があります。バッテリーの温度が 0℃以上になると、低温モードは解除されます。

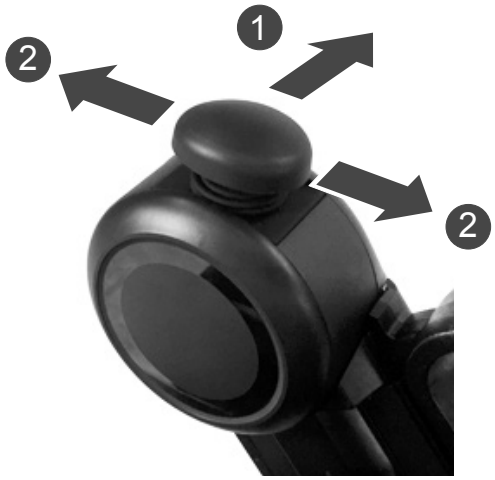
急な坂道を走行すると減速度合が変わることがあります。

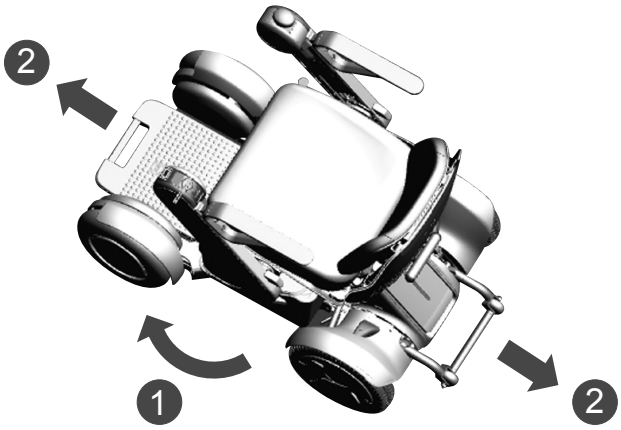
4.5.1. 前後へ移動する

コントローラーを前に動かすと前進し、後ろに倒すと後進します。

4.5.2. 斜め方向へ移動する

斜め方向へ移動する場合は、まず、本体を行きたい方向に向けます。その後、コントローラーをまっすぐ前後に動かし、斜め方向へ前後進します。





4.5.3. 回転する

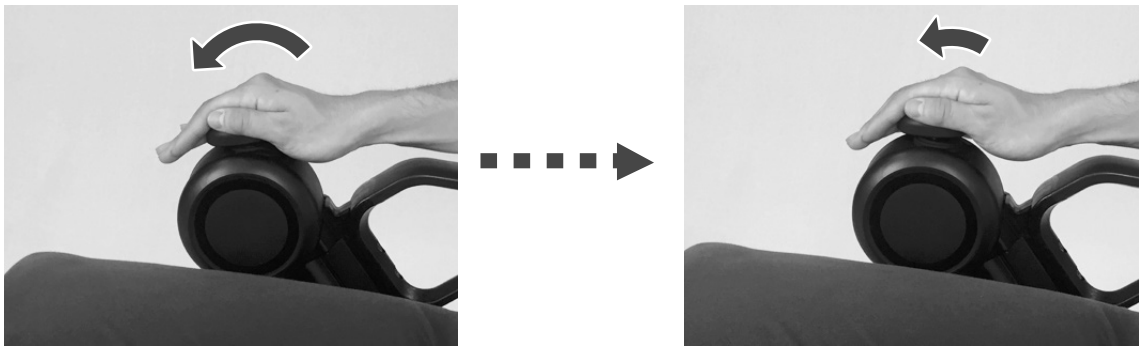
その場で回転したい場合は、コントローラーを左右いずれかに動かし続けます。

4.5.4. 停止する

コントローラーから手を離すと、自動的にブレーキがかかって停止します。

4.5.5. 速度を調整する

本体の速度は、コントローラーの傾きで調整することができます。
コントローラーの傾きを大きくすると本体の速度が上がり、小さくすると速度が下がります。
速度を連続的に調整できます。



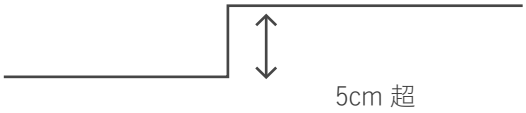
高速（傾き大）　　低速（傾き小）

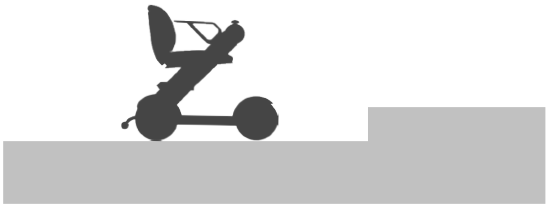
- 走行を始めるときは、コントローラーを必要なだけ押してゆっくり発進してください。
- コントローラーを奥まで倒したときの最高速度は、速度調整スイッチで設定された速度によって異なります。最高速度の設定方法については、「4.4.2 最高速度を調整する」を参照してください。

4.5.6. 路面状況ごとの運転

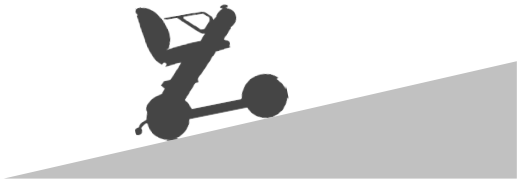
本製品は、多くの条件下で走行の安定性を提供しています。
ただし、以下の路面状況では、走行できません。

・5cm より高い段差

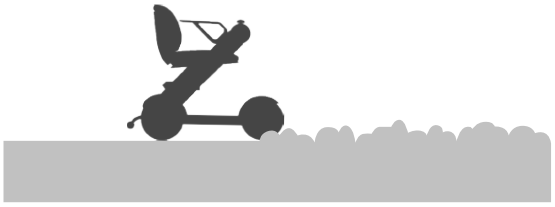




・10˚以上の勾配



・砂地や沼地等の柔らかい路面や、
雪道や凍結した路面
※砂利、軽い雪、草の上は走行可能



4.6. ブレーキを解除する

線路上などで突然本体が停止してしまったときなどに、座面の下にあるブレーキ解除レバーを下げることで、ブレーキを解除して本体を手で押して移動できるようになります。

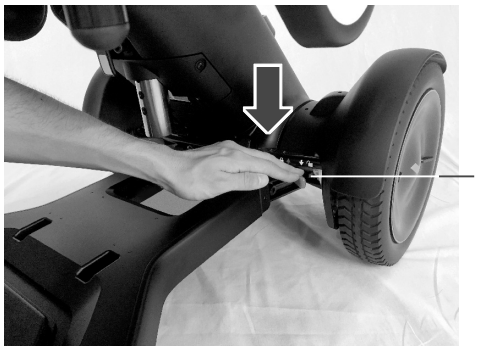
⚠ 警　告	
!	●ブレーキを解除する際は、電源を切ってからブレーキを解除してください。 本体が動き出し、思わぬ事故が発生するおそれがあります。 ●ブレーキの解除は、緊急時のみ行ってください。また、長時間ブレーキを解除しないでください。 ブレーキを解除した状態では、本体が自由に動くため大変危険です。 ●ブレーキ解除後に手動での移動が終了したら、ブレーキ解除レバーを上げて、必ずブレーキをロックしてください。 思わぬ事故が発生するおそれがあります。
⃠	●絶対に、坂道でブレーキを解除しないでください。必ず平坦な場所でブレーキを解除してください。 本体が動き出し、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

⚠ 注　意	
!	●ブレーキ解除後に本体を移動させるときは、手でゆっくり押して動かしてください。 ブレーキを解除すると本体が自由に動くため、強く押すと思わぬ方向に動く可能性があります。

4.6.1. 解除方法

1. 本体の電源を切ります。

2. ブレーキ解除レバーを下げます。
   ブレーキが解除されます。
   ブレーキをロックするときは、ブレーキ解除レバーを上げてください。



4.7. 荷物を持ち運ぶ

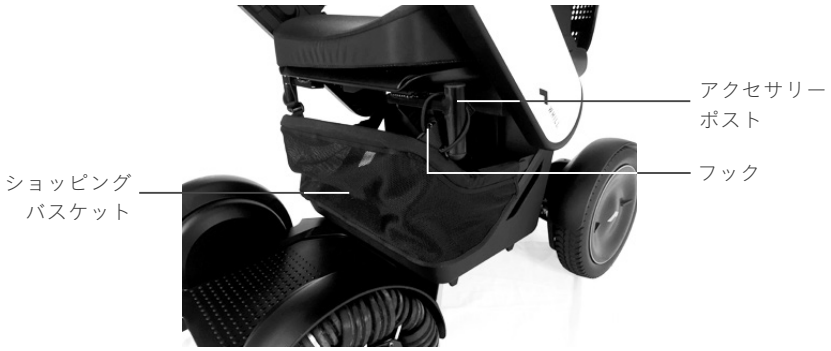
荷物は座面下のショッピングバスケットに収納してください。走行中に荷物が飛び出さないように、ショッピングバスケットのフックをアクセサリーポストに掛けてください。

⚠ 警　告
●荷物の運搬には、必ずショッピングバスケットを使用してください。また、ショッピングバスケット内の側壁または側面の高さを超えないように、荷物を収納してください。 転倒するおそれがあります。

⚠ 注　意
●以下に注意して、ショッピングバスケットを使用してください。 思わぬ事故が発生するおそれがあります。 ・荷物の出し入れは、電源を切ってから行ってください。 ・荷物を取り出す際は、アクセサリーポストからフックが外れていることを確認してください。また、フックの付け外しは手で行ってください。 ●走行前にショッピングバスケットのフックがアクセサリーポストにかかっていることを確認してから、走行を開始してください。 走行中に荷物が落下する可能性があります。
●お手入れの際にシンナー、ベンジン等の有機溶剤を使用したり、高圧洗浄を行ったりしないでください。 変色、変形、劣化、破損などの原因となります。 ●アームやアームサポートに座ったり、荷物を掛けないでください。 アームやアームサポートが変形したり、破損する可能性があります。 ●バックサポートに重量物を掛けないでください。 バックサポートの耐荷重は 5kg です。耐荷重以上の荷物を掛けると、バックサポートが破損する可能性があります。

■ショッピングバスケット

- ショッピングバスケットの最大積載量は 6kg です。耐荷重以上の荷物を収納すると、ショッピングバスケットやアクセサリーポストが破損する可能性があります。
- アクセサリーポストの耐荷重は 5kg です。



■バックサポート

バックサポートにリュックサックなどを掛ける場合は、バックサポートの突起に肩ベルトを掛けてください。

- バックサポートの耐荷重は 5kg です。
- 肩ベルトなどを地面に引きずらないようにご注意ください。
- 夜間走行時は、リアライトが見えるように荷物を掛けてください。

4.8. 鍵をかける

スマートキーを使用して、本体に鍵をかけることができます。

- 外出先で本体に鍵をかける必要がある場合は、必ずスマートキーを携帯してください。
- スマートキーの電池交換の方法については、「8.2 スマートキーの電池交換」を参照してください。

4.8.1. ロックする

スマートキーのロックボタンを押します。

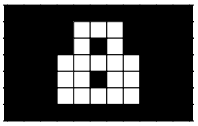
スマートキーの LED が点灯してディスプレイにロック状態を示すアイコンが表示され、本体がロックされます。また、ロック時は本体のリアライトが 1 回点滅します。

ロックされた状態で本体の電源を入れようとすると、ロック状態を示すアイコンがディスプレイに表示された後に電源が切れて、起動できない状態となります。

4.8.2. ロックを解除する

スマートキーの解除ボタンを押します。

スマートキーの LED が点灯してディスプレイにロックを解除するアイコンが表示され、本体のリアライトが 2 回点滅した後、電源が切れます。ロックが解除されたことを確認したら、通常通り電源を入れて使用を開始することができます。



4.9. USB コネクタの使用方法

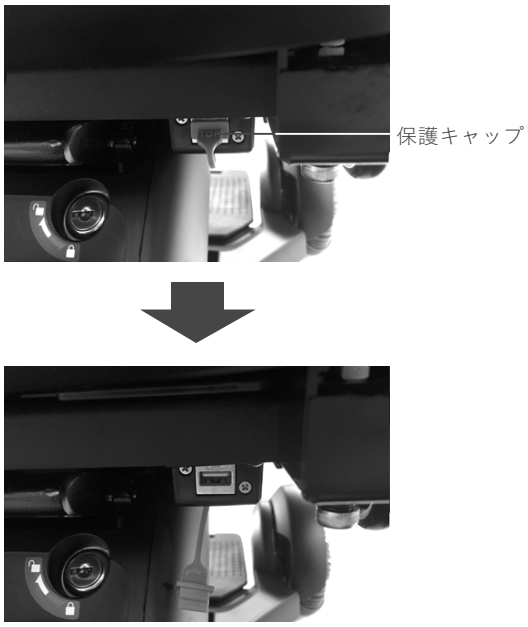
バッテリーの上部には、USB コネクタが装備されています。

スマートフォンなどを充電する際にご利用ください。

⚠ 注　意	
!	● USB ケーブルを接続する際は、コネクタに異物がないか確認してください。 コネクタに異物が挟まっていると充電できません。 ● USB コネクタを使用しないときは、必ず保護キャップをしてください。 水などが侵入して USB 端子が錆びると、充電できなくなります。
🚫	● USB コネクタのキャップを強い力で引っ張らないでください。 キャップが破損するおそれがあります。

- 本 USB コネクタは、スマートフォンなどの USB コネクタが装備されている機器の充電専用です。
- USB コネクタからスマートフォンなどを充電する場合は、急速充電はできません。
  通常充電（5V 500mA）で充電してください。
- USB コネクタを使用した充電は、本体の電源が入っているときに行うことができます。
- USB ケーブルに異常がある場合は、正常に充電できない場合があります。

I.USB コネクタの保護キャップを取り外します。



2. 電源ボタンを押して、本体の電源を入れます。

3.USB コネクタに USB ケーブルを接続します。

4. 使用が終了したら、USB ケーブルを取り外し、
USB コネクタに保護キャップを取り付けます。

5. 組立・調整・分解

ここでは、本体の組み立て・分解、および各部の調整方法を説明します。

⚠ 警　告	
!	●本体を持ち上げるときは、必ず分解してから持ち上げてください。 本体の重量は約 52kg です。分解しないで持ち上げると、体を痛めたり、落として怪我をしたり、製品が破損するおそれがあります。 ●部位を持ち上げるときは、各重量に注意して持ち上げてください。 体を痛めたり、落として怪我をしたり、製品が破損するおそれがあります。
🚫	●本書で説明している部位以外の分解・調整・修理を行わないでください。 お客様ご自身でそれらを行うと、安全性に重大な影響を与えるおそれがあります。シートの長さまたはアームの位置を調整したい場合は、取扱店にお問い合わせください。トレーニングを受けたサービスマンが、安全に配慮したメンテナンスを行います。 ●本体に人が乗ったままの状態で、分解・調整・修理を行ったり、本製品を持ち上げないでください。 製品が破損したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

5.1. 部位の名称

本製品は、以下の 5 つの部位に分解することができます。

・シート

・ドライブベース

・メインボディ

・バッテリー

・ショッピングバスケット

5.2. 組立方法

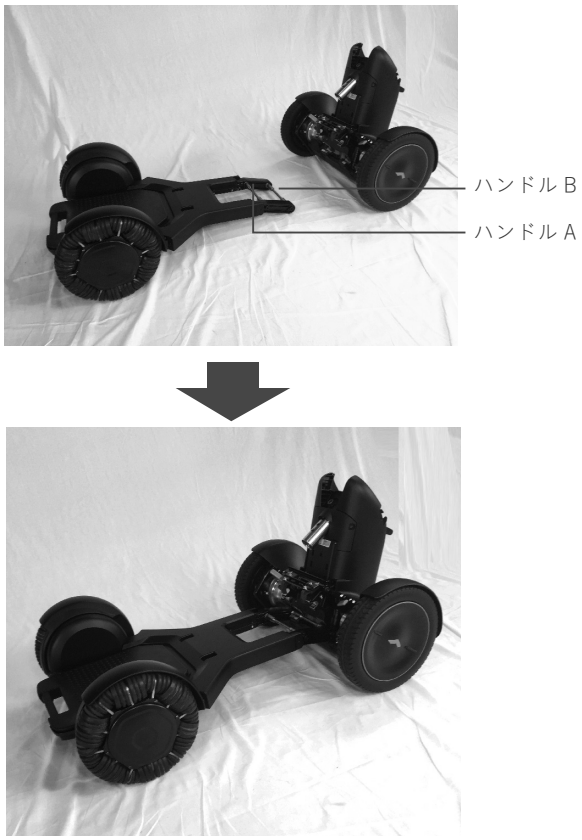
本体の組み立てには、工具は必要ありません。本体を組み立てる際には、以下に十分に注意してください。

⚠ 警　告	
	●ドライブベースとメインボディの組み立ての際は、必ずハンドル A を持ってください。 分解機構に指を挟んで、怪我をするおそれがあります。 ●組み立ては、平坦で水平な場所で行ってください。 思わぬ事故が発生するおそれがあります。

⚠ 注　意	
	●組み立ての際は、マグネットコネクタが汚れていないことを確認してください。 マグネットコネクタが汚れていると、電気が通らず、電源が入らない可能性があります。マグネットコネクタは、シートとメインボディの接続部およびバッテリーとメインボディの接続部にあります。
	●組み立ての際は、本書で説明している持ち手部分を持ち、ほかの部分は持たないでください。 手を挟んで怪我をするおそれがあります。

5.2.1. ドライブベースとメインボディの組み立て

1. ハンドル A を持ち、ハンドル B をメインボディのフックに合わせて置きます。



2. メインボディをゆっくり前方に倒し、ドライブベースとメインボディを連結します。
   - 正しく連結されると、カチッと音がします。
   - 転倒防止バーが下に下がっていることを確認します。

5.2.2. ショッピングバスケットの取り付け

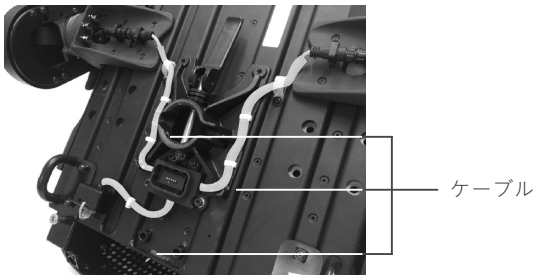
1. ショッピングバスケットをメインボディのフックに合わせます。

2. ショッピングバスケットを回転させて、ドライブベースにバスケットを置きます。

3. ショッピングバスケット底面の面ファスナーをドライブベースに留めます。

5.2.3. シートの組み立て

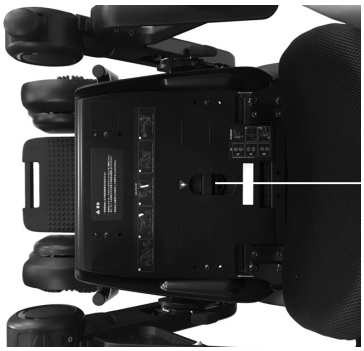
⚠ 警　告	
!	●植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている方は、マグネットコネクタから最低 20cm 以上離れてください。 マグネットコネクタは、シートとメインボディの接続部およびバッテリーとメインボディの接続部にあります。マグネットコネクタの磁気が、医用電気機器の作動に影響を及ぼす可能性があります。
⃠	●コネクタやバッテリー接続部を触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。 怪我をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。

⚠ 注意	
⃠	●シート底面にあるケーブルに、鋭利な物を押し付けたり、負荷をかけたりしないでください。 ケーブルが断線するおそれがあります。 

1. 座面クッションをシートから取り外します。

2. アームサポートを持ってシートを持ち上げます。

3. 座面の覗き穴からシートポストの位置を確認しながら、まっすぐにシートをはめ込みます。



上から見た写真

4. 座面クッションをシートに取り付けます。

5. シート分解レバーを下げます。
シートがシートポストに固定されます。

6. バスケットのフックをアクセサリーポストに掛けます。

5.2.4. バッテリーの取り付け

⚠ 警 告

●コネクタやバッテリー接続部を触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。
怪我をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。

1. バッテリーの取っ手を持って、取付部下部の突起に合わせます。

バッテリーは 2.8kg の重量があります。落とさないように注意して取り扱ってください。足の上に落として怪我をしたり、バッテリーが損傷するおそれがあります。

2. バッテリーの上部を押し込んで取り付けます。
強く押しても取り付けられない場合は、バッテリーの鍵がロックされていないか確認してください。

3. キーを左にまわしてロックし、キーを抜き取ります。

5.3. 調整方法

本製品は、使用者の体に合わせて、以下の調整を行うことができます。

- アームの長さ ➡「5.3.1 アームの長さ調整」p.83
- コントローラーの左右交換 ➡「5.3.2 コントローラーボックスとスイッチボックスの左右交換」p.84
- シートの高さ ➡「5.3.3 シートの高さ調整」p.89
- バックサポートの高さ ➡「5.3.4 バックサポートの高さ調整」p.92
- バックサポートの角度 ➡「5.3.5 バックサポートの角度調整」p.93

⚠ 警 告

●アームの長さ調整などでアームを上下に動かす際は、指を挟まないように注意してください。
怪我をするおそれがあります。

●フットサポートを上下に動かす際は、接続部に指を挟まないように注意してください。
怪我をするおそれがあります。

●バックサポートの高さ調整などでバックサポートを上下に動かす際は、バックサポートの下部や接続部に指を挟まないように注意してください。
怪我をするおそれがあります。

⚠ 注 意

●調整の際は、本書で説明している持ち手部分を持ち、ほかの部分は持たないでください。
手を挟んで怪我をするおそれがあります。

●安全に使用するために、以下に注意して調整してください。
思わぬ事故が発生するおそれがあります。

・必ず体に合うように調整してからご使用ください。

・調整時にねじの締め忘れに気をつけてください。

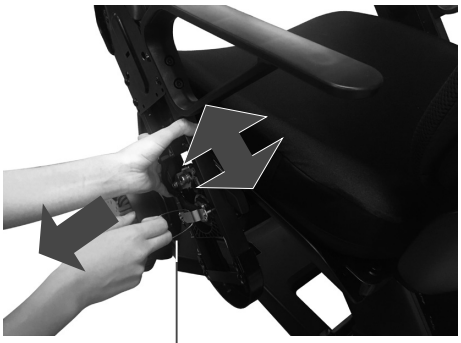
・調整を行う際は必ず本体から降りてください。

・調整を行う前に、必ず本体からバッテリーを外してください。

5.3.1. アームの長さ調整

1. アームカバーを取り外します。
   アームカバーの両端に指を掛けて、広げながら手前に引いて取り外してください。

2. アーム長さ調節ワイヤを手前に引っ張りながら、アームを上下に動かし、適切な長さに調節します。
   アーム長さ調節ワイヤを離して、カチッと音がする位置がアームの固定箇所です。
   アームの長さは 4 段階に調節可能です。ラベルの数字を目安に位置を調節してください。



アーム長さ調整ワイヤ

- 調整が終了したらアームを上下に動かし、アームが固定されていることを確認してください。
- ケーブルには触らないでください。

3. アームカバーを取り付けます。
   アームカバーの先端のツメを合わせて、押し込みます。

ケーブルやアーム長さ調節ワイヤを挟み込まないよう注意してください。

4. 同様に、反対側のアームの長さを調整します。

5.3.2. コントローラーボックスとスイッチボックスの左右交換

コントローラーボックスとスイッチボックスの左右を入れ替えます。

⚠ 警　告	
	●コネクタやバッテリー接続部を触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。 怪我をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。
	●必ずバッテリーを取り外してから調整してください。 感電したり、製品が誤動作するおそれがあります。

⚠ 注　意	
	●コントローラーに荷重を掛けたり、鋭利な物で傷つけないでください。 コントローラーボックスが損傷し、本体の操作ができなくなる可能性があります。 ●取り外したスイッチボックスやコントローラーボックスを投げる、踏むなどして強い衝撃を加えたり、水に浸さないでください。 スイッチやコントローラーが破損し、本体の操作ができなくなる可能性があります。 ●ディスプレイを引っ掻いて傷をつけたり、汚れた手で触らないでください。 ディスプレイの表示が見えなくなるおそれがあります。 ●スイッチボックスやコントローラーボックスは分解しないでください。 スイッチボックスやコントローラーボックスが故障する原因となります。

⚠ 注　意

●以下に注意して調整してください。
本体や部品が損傷するおそれがあります。

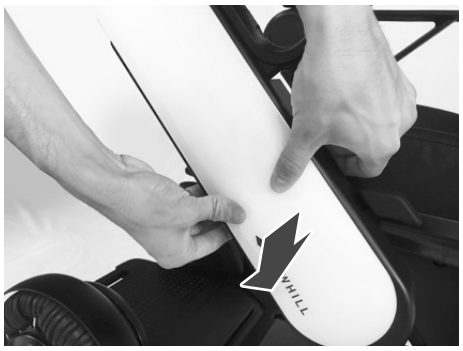
・取り外したコントローラーボックスやスイッチボックスは振らないでください。

・部品を強い力で押さないでください。

●部品を失くした場合は、ただちに使用を中止し、取扱店にご連絡ください。
製品が損傷したり、操作ができなくなる可能性があります。

1. バッテリーを取り外します。
取り外し方法については、「5.4.1 バッテリーの取り外し」を参照してください。

2. アームカバーを取り外します。
取り外し方法については、「5.3.1 アームの長さ調整」の手順 1 を参照してください。

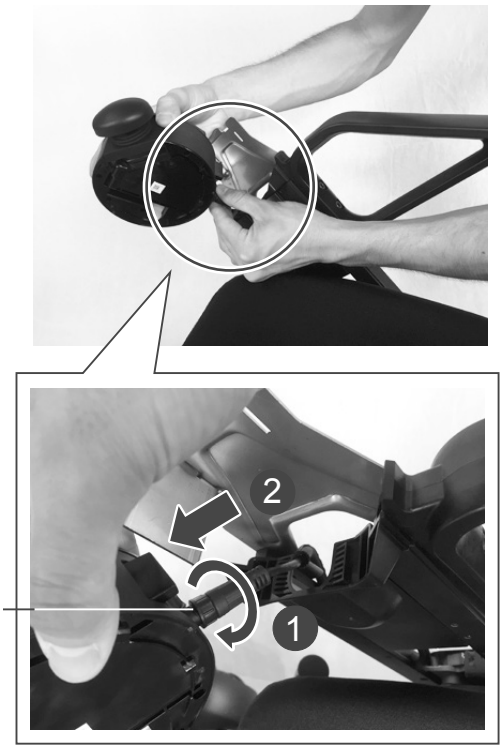


3. 内側のカバーを反時計回りにまわして取り外します。

4. ボックスを取り外します。
   1) ボックスの内側の白いレバーを下に押します。
   2) ボックスを先端に押し上げます。
   3) ボックスを内側へずらして取り外します。

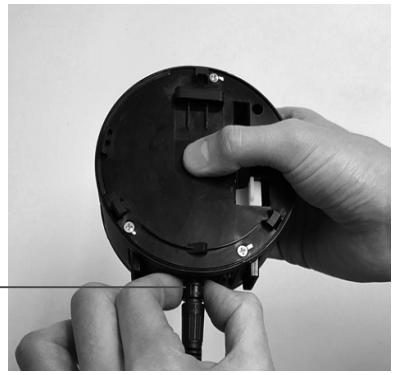
アームからボックスを取り外す際は、ボックスを強く引っ張らないでください。ボックスに接続されているケーブルが断線するおそれがあります。

5. コネクタを外します。
   1) コネクタの根元のロックを反時計回りにまわして緩めます。
      ロックが解除されます。
   2) コネクタを引き抜きます。



コネクタを外す際は、ボックスを強く引っ張らないでください。ケーブルが断線するおそれがあります。

コネクタを外す際は、コネクタの根本部分を回して下さい。コネクタの根本部分以外は回さないで下さい。

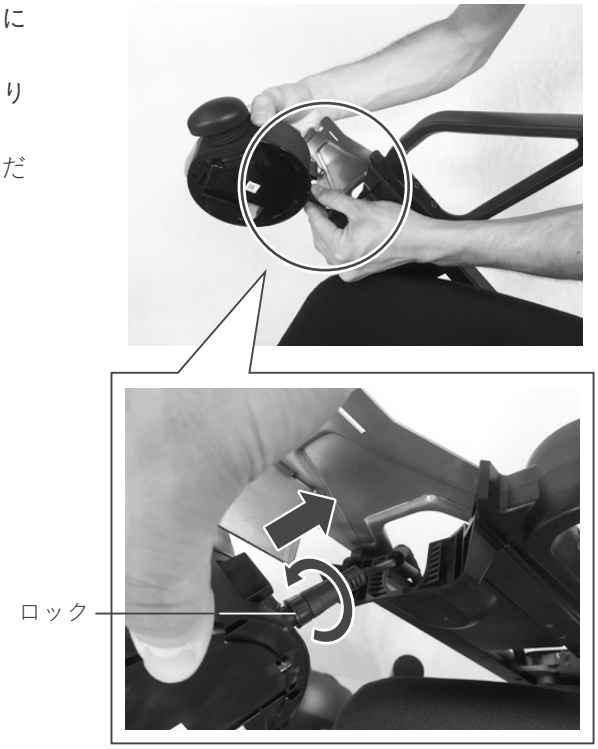


6. 外側のリング状のカバーを反時計回りにまわして取り外します。

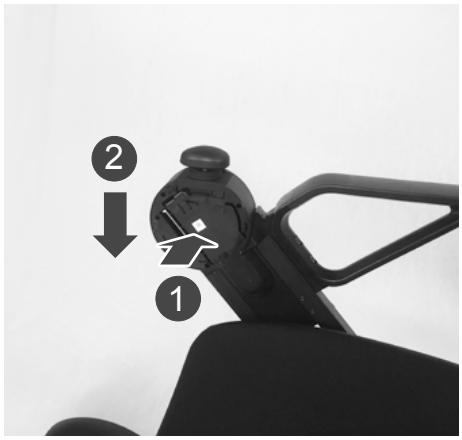
7. 前の手順で取り外したリング状のカバーを、ボックスの内側（反対側）に付け替えます。
ボックスの「|」とカバーの「▲」を合わせて、時計回りにまわして固定します。

8. 手順 2 ～ 7 を繰り返して、同様に反対側のボックスのリング状のカバーを付け替えます。

9. 右のアームに付いていたボックスを左に、左に付いていたボックスを右に付け替えます。
コネクタを差し込み、根元のロックを時計回りにまわして固定します。
ロックは、カチッと音がするまでまわしてください。



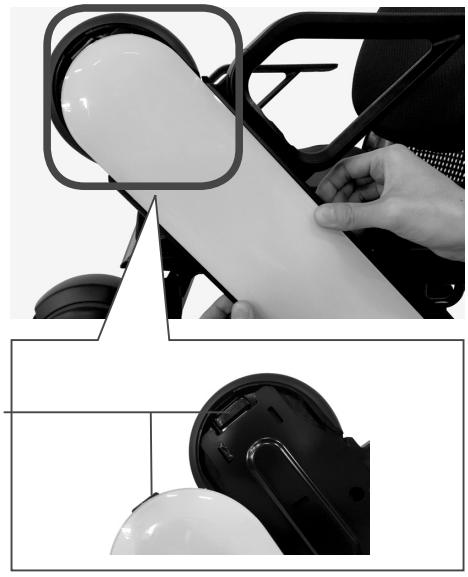
10. ボックスをアームに取り付けます。
   1) ボックスをアームに差し込みます。
   2) ボックスを下にずらすとカチッと音がして白いレバー上がり、ボックスが固定されます。



ボックスを上下左右に動かして、固定されていることを確認してください。

11. 内側のカバーを時計回りにまわして取り付けます。
ボックスの「|」とカバーの「▲」を合わせて、時計回りにまわして固定します。

12. アームカバーを取り付けます。
アームカバーの先端のツメを合わせて、押し込みます。



ケーブルやアーム長さ調節ワイヤを挟み込まないよう注意してください。

13. バッテリーを取り付け、リアライトが数秒間点灯することを確認します。
取り付け方法については、「5.2.4 バッテリーの取り付け」を参照してください。

リアライトが点滅する場合は、コネクタの接続に問題がある可能性があります。
再度、コネクタの接続を確認してください。

14. 電源を入れて、本体が前後左右に問題なく動くことを確認します。

ディスプレイにエラー表示が出る場合は、「トラブルシューティング」の章をご確認ください。それでも解決しない場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。

5.3.3. シートの高さ調整

⚠ 警　告

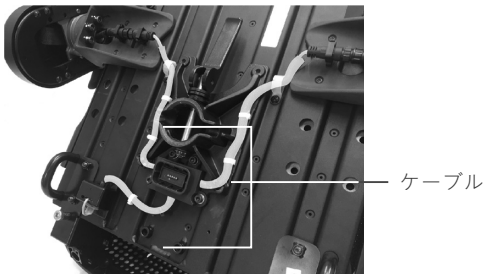
●コネクタやバッテリー接続部を触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。
怪我をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。

●必ずバッテリーを取り外してから調整してください。
感電したり、製品が誤動作するおそれがあります。

⚠ 注　意

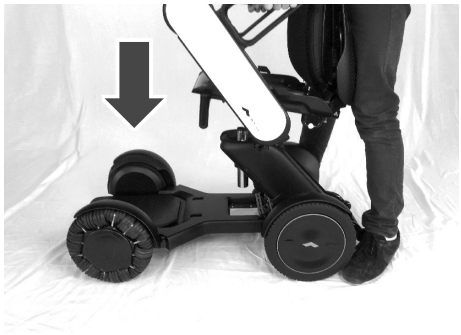
●シートの高さ調整の際は、シートポストを強く引っ張らないでください。
シートポストの中にケーブルが入っています。シートポストを強く引っ張ると、中のケーブルが断線するおそれがあります。

●シート底面にあるケーブルに、鋭利な物を押し付けたり、負荷をかけたりしないでください。
ケーブルが断線するおそれがあります。

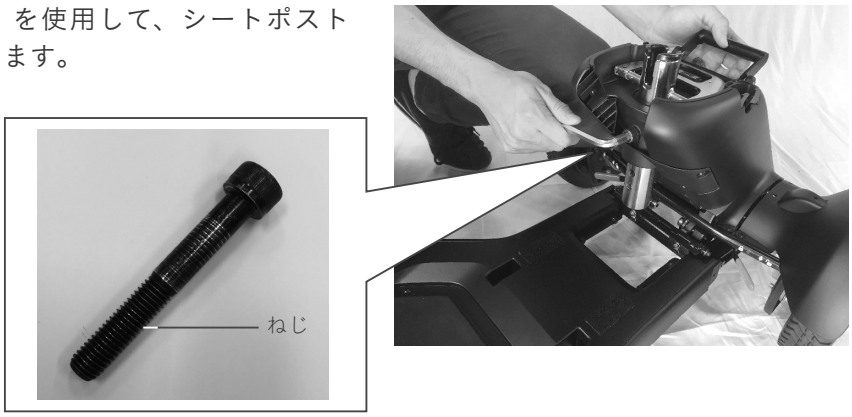


1. バッテリーを取り外します。
   取り外し方法については、「5.4.1 バッテリーの取り外し」を参照してください。

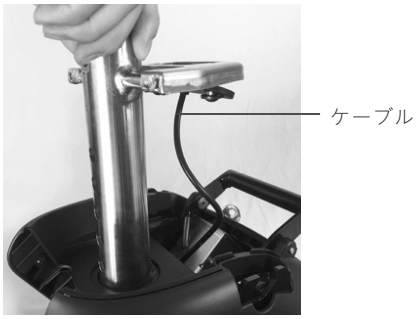
2. シートを取り外します。
   取り外し方法については、「5.4.2 シートの取り外し」を参照してください。



3. 六角レンチ（#8）を使用して、シートポストのねじを取り外します。



4. シートポストを上下させて、調節したい高さの穴に合わせます。
   シートの高さは、5 段階で調整可能です。



ケーブルがシートポストの中に入っています。シートポストを強く引っ張ると、中のケーブルも引っ張られ、断線するおそれがあります。シートポストを強く引っ張らないように注意してください。

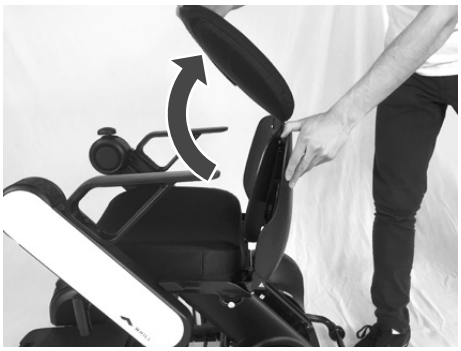
5. 手順 3 で外したねじを希望の高さの穴位置に差し込み、強く締め付けます。
   締付けトルク：25 Nm
   シートポストが固定されます。

6. シートを取り付けます。
   取り付け方法については、「5.2.3 シートの組み立て」を参照してください。

7. バッテリーを取り付けます。
   取り付け方法については、「5.2.4 バッテリーの取り付け」を参照してください。

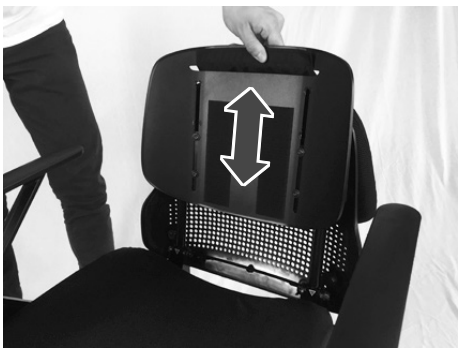
5.3.4. バックサポートの高さ調整

1. 背面クッションを外します。
   面ファスナーを外して、背面クッションを後ろに倒します。

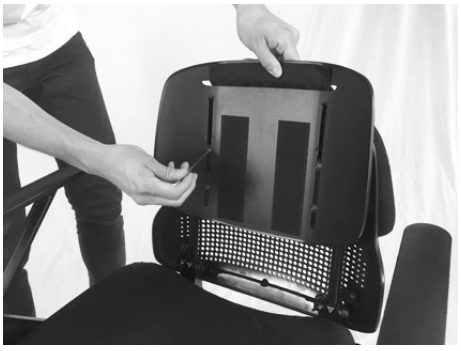


2. 六角レンチ（#4）を使用して、4 つのねじを緩めます。
   ねじを完全に取り外す必要はありません。

3. バックサポートを上下に動かして調節します。



4. 希望の高さの位置で、緩めたねじを締め付けます。
   締付けトルク：10 Nm
   バックサポートが固定されます。



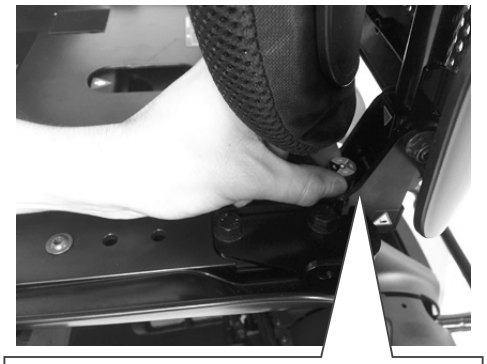
5. 背面クッションを取り付けます。
   背面クッションを元の位置に戻し、面ファスナーで留めてください。

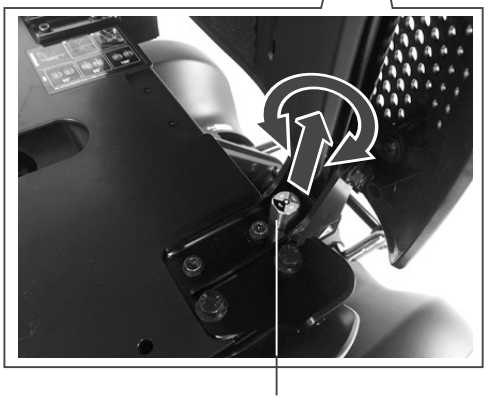
5.3.5. バックサポートの角度調整

1. 座面クッションを取り外します。

2. バックサポートを少し前に倒します。

3. 調整ブロックの下のピンを押しながらまわして、適切な角度に調整します。
バックサポートは、3 段階（90 度、95 度、100 度）で調整できます。





調整ブロック

i

左右のブロックを同じ角度に調整してください。

4. 座面クッションを取り付けます。

5.4. 分解方法

本体の分解には、工具は必要ありません。本体を分解する際には、以下に十分に注意してください。

分解した部位を運搬する方法については、「6.2 運搬」を参照してください。

⚠ 警　告	
	●ドライブベースとメインボディの分解の際は、必ずハンドル A を持ってください。 分解機構に指を挟んで、怪我をするおそれがあります。 ●分解は、平坦で水平な場所で行ってください。 思わぬ事故が発生するおそれがあります。
	●コネクタやバッテリー接続部を触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。 怪我をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。
	●必ずバッテリーを取り外してから分解してください。 感電したり、製品が誤動作するおそれがあります。また、バッテリーを取り外さずに分解した場合、露出したコネクタに金属が接触し本体がリセットされるおそれがあります。本体がリセットされた場合は、バッテリーを一度外してから再度取り付けてください。

⚠ 注　意	
	●分解の際は、本書で説明している持ち手部分を持ち、ほかの部分は持たないでください。 手を挟んで怪我をするおそれがあります。

5.4.1. バッテリーの取り外し

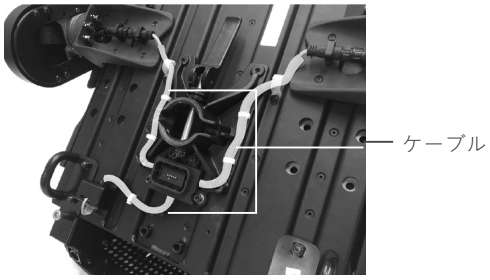
1. 本体の電源が切れていることを確認します。
2. バッテリー上部の鍵穴にキーを差し込み、キーをまわしてバッテリーのロックを解除します。

3. 取っ手を持って手前に引き、バッテリーを取り外します。
   取っ手を手前に引き、バッテリーを持ち上げるようにして、下部の突起から取り外してください。

バッテリーは 2.8kg の重量があります。落とさないように注意して取り外してください。足の上に落として怪我をしたり、バッテリーが損傷するおそれがあります。

5.4.2. シートの取り外し

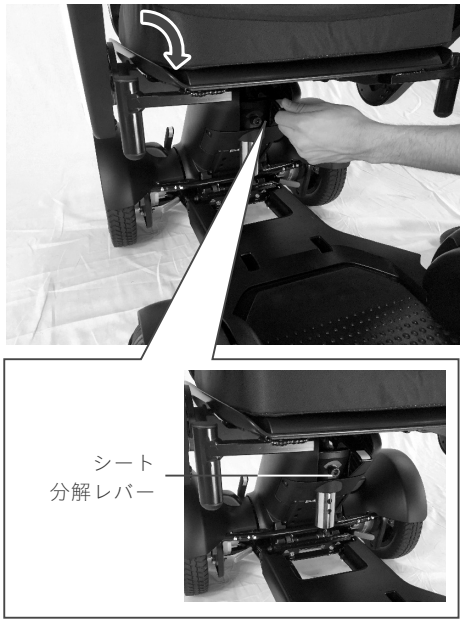
⚠ 警　告	
!	●植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている方は、マグネットコネクタから最低 20cm 以上離れてください。 マグネットコネクタは、シートとメインボディの接続部およびバッテリーとメインボディの接続部にあります。マグネットコネクタの磁気が、医用電気機器の作動に影響を及ぼす可能性があります。
⃠	●コントローラーに座ったり、取り外したシートを上下逆に置くなどして、コントローラーに過度な負荷をかけないでください。 コントローラーが破損して、本体の操作ができなくなる可能性があります。

⚠ 注　意	
⃠	●シート底面にあるケーブルに、鋭利な物を押し付けたり、負荷をかけたりしないでください。 ケーブルが断線するおそれがあります。 

1. ショッピングバスケットが取り付けられている場合は、ショッピングバスケットのフックをアクセサリーポストから外します。

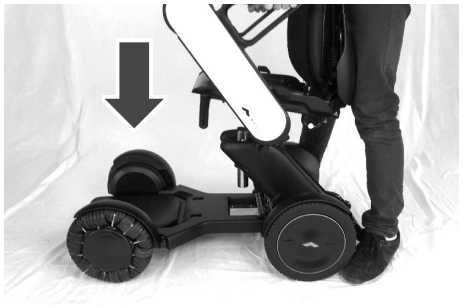
2. シート前面下部のシート分解レバーを手前に引きます。
ロックが外れます。

フットサポートに膝をつくなどして体重を掛けると、本体が転倒するおそれがありますので注意してください。



3. アームサポートを持ち、シートを真上に持ち上げてメインボディから取り外します。

シートを持ち上げる際は部品をぶつけないように、ゆっくりとまっすぐに持ち上げてください。



4. 取り外したシートは、座面を上にして床に置きます。

5.4.3. ショッピングバスケットの取り外し

この作業は、ショッピングバスケットが取り付けられている場合のみ行います。

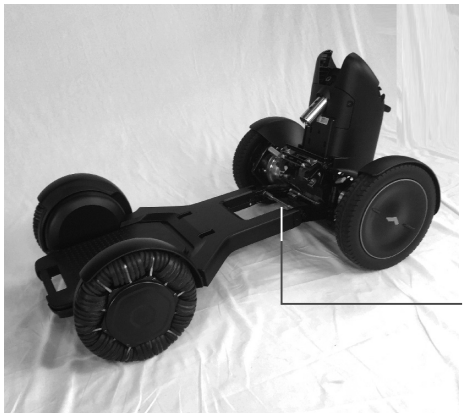
1. ショッピングバスケットの中に入っている物を取り出します。
2. ショッピングバスケットを持ち上げて、ドライブベースから底面の面ファスナーを外します。
3. ショッピングバスケットを手前に回転させるように持ち上げて、メインボディのフックから外します。

5.4.4. ドライブベースの取り外し

1. 本体分解レバーを手前に引きます。
   ドライブベースとメインボディのロックが解除されます。

2. ドライブベースのハンドル A を持って、ドライブベース後端のバーをメインボディのフックから外します。
   ドライブベースとメインボディが分解されます。

   メインボディが倒れないように、手で支えながら分解するようにしてください。



3. 分解したドライブベースとメインボディは右写真のように置きます。

6. 運搬・保管方法

6.1. 保管

本製品を保管する際は、以下にご注意ください。

- 火気の近くや可燃性ガスのある環境では保管しないでください。
- 温度 -15 ～ 40℃の場所に保管してください。
- 本体を横倒しにしないでください。

⚠ 注　意	
	●平坦な場所に保管してください。 本体が破損する可能性があります。
	●埃や砂が多い場所、および海沿いや温泉地で長期間保管しないでください。 本体に異物が侵入したり、フレームやねじが腐食する可能性があります。 ●重いものを本体に載せたまま長期間保管しないでください。 本体が故障する原因となります。 ●直射日光や雨にさらされる屋外に、本体やショッピングバスケットを保管したり、長時間放置しないでください。 雨水で本体がショートしたり、直射日光で本体やショッピングバスケットが変形、劣化する可能性があります。屋内など屋根のある場所に保管してください。

■長期間保管する場合

長期間（4 ヶ月以上）保管する場合は、本体からバッテリーを取り外してください。少なくとも 3 ヶ月に 1 回以上はバッテリーを充電し、本体が正常に動作することを確認してください。

また、長期間使用しなかった本製品を再び使用するときは、使用する前にバッテリーを充電し、必ず本製品が正常かつ安全に動作することを確認してから使用してください。

⚠ 注　意	
	●長期間使用しない場合は、少なくとも 3 ヶ月に 1 回は必ず充電してください。 そのまま放置すると、バッテリーが過放電する可能性があります。

6.2. 運搬

本製品を運搬する際は、以下に注意してください。

- 持ち運ぶときは、指定の持ち手部分を持つようにし、ほかの部分は持たないでください。
- 公共交通機関を利用する際は、公共交通機関のルールに従ってください。

⚠ 警　告	
!	●本体を持ち上げるときは、必ず分解してから持ち上げてください。 本体の重量は約 52kg です。分解しないで持ち上げると、体を痛めたり、意図せずに各部位が落下したり、落として怪我をしたり、製品が破損するおそれがあります。 ●部位を持ち上げるときは、各重量に注意して持ち上げてください。 体を痛めたり、落として怪我をしたり、製品が破損するおそれがあります。
🚫	●本製品を自動車などの座席として使用しないでください。 製品が破損したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。 ●本体に人が乗ったままの状態で、本製品を持ち上げないでください。 製品が破損したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

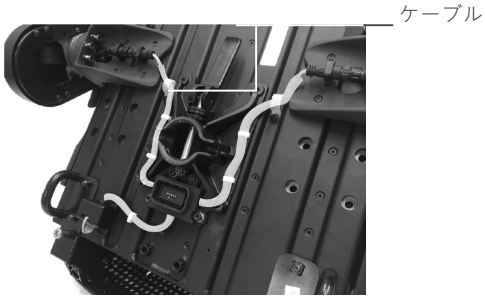
⚠ 注　意	
!	●航空機に乗る場合は、事前に電動車いすを使用することを航空会社に連絡し、搭乗方法についての説明を受けて航空会社の指示に従ってください。 事前連絡を怠ると、搭乗手続きに時間を要する可能性があります。 ●自動車のトランク等に載せる場合は、きちんと固定してください。 本体が破損する可能性があります。 ●本体の運搬にリフトを使用する場合は、きちんと固定してください。 落下して、本体が破損する可能性があります。

6.2.1. 各部位の持ちかた

本体を分解して運搬する場合は、以下の指定部分を持ってください。

■シート

⚠ 警　告
●植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている方は、マグネットコネクタから最低 20cm 以上離れてください。 マグネットコネクタは、シートとメインボディの接続部およびバッテリーとメインボディの接続部にあります。マグネットコネクタの磁気が、医用電気機器の作動に影響を及ぼす可能性があります。 ●本体を持ち上げるときは、必ず分解してから持ち上げてください。 本体の重量は約 52kg です。分解しないで持ち上げると、体を痛めたり、意図せずに各部位が落下したり、落として怪我をしたり、製品が破損するおそれがあります。
●コネクタやバッテリー接続部を触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。 怪我をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。

⚠ 注　意
●シート底面にあるケーブルに、鋭利な物を押し付けたり、負荷をかけたりしないでください。 ケーブルが断線するおそれがあります。 

アームサポートを持って運搬します。

床に置くときは、座面を上にして置いてください。

■ドライブベース

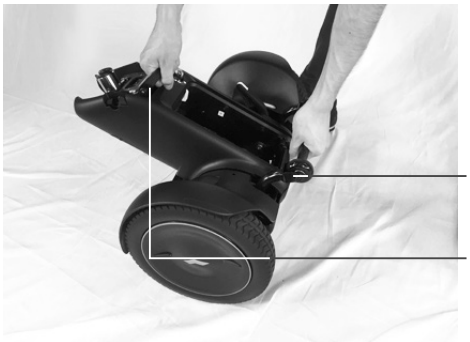
フットサポート先端のハンドルとハンドルAを持って運搬します。

■メインボディ

⚠ 警　告

●コネクタやバッテリー接続部を触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。
怪我をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。

バッテリーケース上部のハンドルと転倒防止バーを持って運搬します。



7. スマートフォンアプリのダウンロード方法

この章は WHILL Model C で使用するアプリの説明です。WHILL Model CK のお客様はこちらのアプリはご利用になれません。

Apple 社の iOS が搭載されたデバイス（iPhone や iPad など）に WHILL のアプリをインストールすると、本体の設定をアプリから行うことができます。また、アプリのリモートコントロール機能を使用すると、降車した後に本体を隅に寄せたり、狭い場所に保管する際に乗り降りせずに本体を移動することができます。

アプリのダウンロードと操作方法の詳細については、『WHILL Model C　スマートフォンアプリ 操作ガイド』（https://whill.jp/wp-content/themes/whill-jp/pdf/whill_model_c_app_guide.pdf）を参照してください。

8. 保守・点検

⚠ 警　告
●本書で説明している部位以外の分解・調整・修理を行わないでください。 お客様ご自身でそれらを行うと、安全性に重大な影響を与えるおそれがあります。シートの長さまたはアームの位置を調整したい場合は、取扱店にお問い合わせください。トレーニングを受けたサービスマンが、安全に配慮したメンテナンスを行います。
●本体や付属品を改造しないでください。 本書に記載されていない内容の修理や改造を行った場合、保証の対象外となる場合があります。

8.1. お手入れ

本体のお手入れは、以下のように行ってください。

- 外装やタイヤの汚れが目立つ場合は、濡れたタオルで拭き取るか、水洗いをしてください。
- 汚れがひどい場合は、石油系溶剤の使用は避けて、中性洗剤を使用してください。
- 高圧洗浄は行わないでください。

⚠ 注　意
●お手入れの際にシンナー、ベンジン等の有機溶剤を使用したり、高圧洗浄を行ったりしないでください。 変色、変形、劣化、破損などの原因となります。
●先の尖った物でスピーカーの穴をお手入れしないでください。 スイッチボックスが破損する原因となります。
●本体の可動部や接続部に市販のグリス等を塗布しないでください。 べたつきなどで砂利など異物が本体に入り込み、本体が故障するおそれがあります。

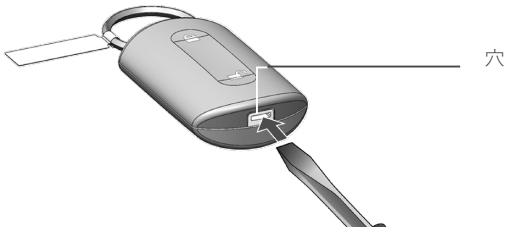
8.2. スマートキーの電池交換

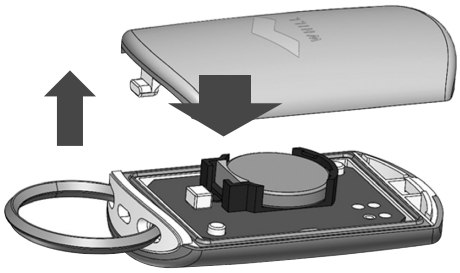
ディスプレイにスマートキーの電池残量不足が表示された場合は、以下の手順に従ってスマートキーの電池を交換してください。

ボタン電池は、「CR2032 3V」（市販品）を使用してください。

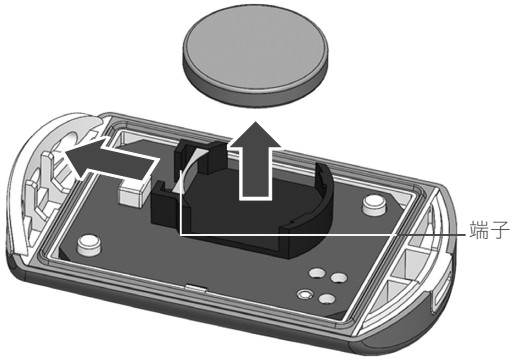
ディスプレイに表示されるメッセージについては、「8 トラブルシューティング」を参照してください。

1. ケースの穴に先端を布で巻いたマイナスドライバーを差し込み、ケースを取り外します。

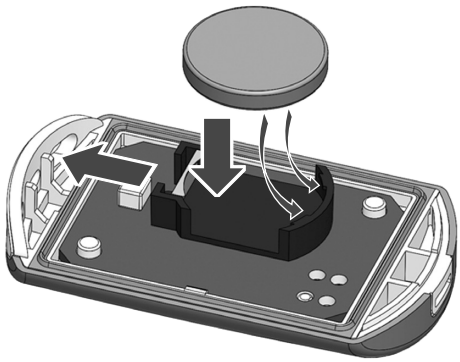




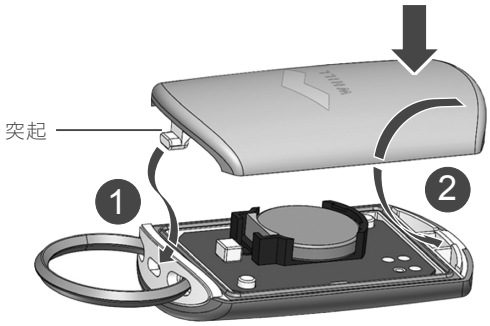
2. 端子を後方に引き、古いボタン電池を電池ケースから取り外します。



3. 端子を後方に引き、新しいボタン電池を電池ケースのリブの下に入れます。



4. ケースを取り付けます。
   1) 突起を穴に差し込みます。
   2) WHILL のロゴが印字されているケースの反対側を押してはめ込みます。

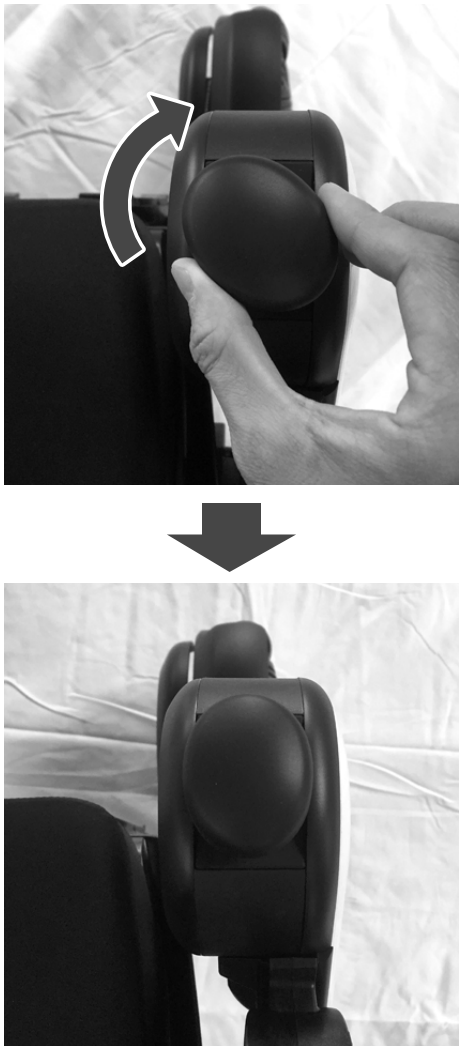


8.3. コントローラーヘッドの取り付け

コントローラーボックスのコントローラーヘッドが外れてしまった場合は、以下の手順に従って取り付けてください。

1. コントローラーヘッドを進行方向に対して横向きにはめ込みます。

2. コントローラーヘッドを時計回りに 90° 回転させます。



8.4. 点検

本製品を長くお使いいただくために、取扱店による本製品の点検を定期的（半年に 1 回程度）に行うことをお勧めします。

詳しくは、取扱店にご相談ください。

8.5. 製造者・取扱店が行う修理・メンテナンス・部品交換

修理・メンテナンス・部品交換が必要な場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。本体に異常がみられたときのメンテナンスは、取扱店にて行います。また、以下のメンテナンスも取扱店にて行います。メンテナンスが必要な場合は、取扱店にご連絡ください。

- フットサポートの角度調整
- シートの長さ調整
- アーム位置の調整
- バックサポートの交換
- 骨盤ベルトの取り付け

また、以下の部位は、本体から取り外して個別に修理することが可能です。

- シート
- メインボディ
- ドライブベース
- 充電器（付属品）

個別修理を希望される場合は、修理する部位を本体から取り外して（充電器の場合は単品）送付してください。詳細については、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご連絡ください。

⚠ 警　告

●転倒防止バーが変形した場合は、必ず交換してください。
転倒防止機能が失われ、本体が転倒するおそれがあります。

⚠ 注　意

●部品が摩耗したり、交換が必要な場合は、取扱店にご連絡ください。
製品が損傷したり、操作ができなくなる可能性があります。

8.6. 廃棄について

(Model C をご利用のお客様へ) バッテリーを廃棄する際は、リサイクル協力店にお持ちください。

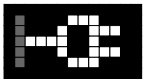
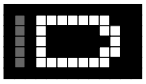
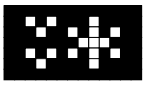
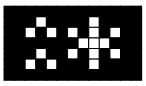
⚠ 注　意

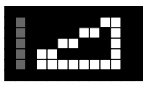
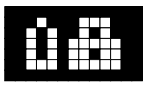
●本体および部品を廃棄する際は、自治体のルールに従ってください。
不明なことがある場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご相談ください。

9. トラブルシューティング

本体に異常や障害が生じた場合は、ディスプレイにエラーコードが表示されます。

以下に、ディスプレイの表示内容、音声、原因、および対処方法を説明します。

現象	ディスプレイ表示	音声	原因	対処方法
走行停止後に電源 OFF		アームを降ろして、電源を入れ直してください	アームが上がった状態でコントローラーを操作した	アームを降ろしてください
		コントローラーに触れずに、電源を入れ直してください	コントローラーの操作中に電源を入れた	コントローラーに触れないで、電源を入れ直してください
		本体下側の赤いレバーを上げて、電源を入れ直してください	ブレーキが解除された	ブレーキをロックしてください
		ー	電源が入っている状態で、充電器を接続した / 充電器が接続されている状態で、電源を入れた	充電器をバッテリーから外してください
右記のようなディスプレイ表示が出る		ー	バッテリーの残量不足	充電してください
速度が遅くなる		バッテリー温度低下のため、速度が制限されます	バッテリーの温度がいちじるしく低下したため、バッテリーが低温モードになった	バッテリーを室温、もしくは 0℃以上の場所に保管して、バッテリーの温度が 0℃以上に戻るまでお待ちください
速度が速くなる		バッテリー温度低下による速度制限を解除します	バッテリーの温度が 0℃以上になったことで、バッテリーの低温モードが解除された	ー

現象	ディスプレイ表示	音声	原因	対処方法
右記のような音声とディスプレイ表示が出る		角度が 10° を超えています	10° を超えた坂道にいる可能性がある (この表示はあくまで参考値としてご判断ください)	10° 以上の傾斜では安全に走行することができません。安全性を確認しながら、傾斜角が 10° 以下の場所にゆっくり移動してください。一度通知を行うと約 3 分間は再通知されません。
		スマートキーの電池を交換してください	スマートキーの電池残量不足	スマートキーの電池を交換してください。

・ディスプレイに表示されるエラーメッセージの数字は、
赤い縦線と共に表示されます。

・上記リストにないエラーが表示された場合、取扱店または
WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。

10. 仕様・試験結果

10.1. 仕様

■本体

項目	仕様
駆動方式	二輪駆動
速度切り換え	4 段階
ブレーキ方式	電磁ブレーキ
前輪タイヤタイプ	オムニホイール
後輪タイヤタイプ	ノンパンクタイヤ
アーム	跳ね上げ式
最大許容傾斜	10°
航続距離	最大 16 km
最大耐荷重	115 kg
テールランプ	LED ランプ（赤）
充電時間	5 時間
使用環境	-15 ～ 40°C
ピボット幅	760 mm

■バッテリー

項目	寸法
バッテリータイプ	リチウムイオン電池
公称電圧	25.2 V
定格容量（5 時間率）	10040 mAh

■充電器

項目	寸法
定格入力電圧	100-240 V
定格直流出力電流	2.6 A
定格直流出力電圧	29 V
使用環境	0 ～ 40°C
適合バッテリータイプ	リチウムイオン電池
対象となるバッテリーの定格容量 (5 時間率)	10040 mAh
環境保護等級	IPX4
コネクタピンの割り当て	Pin1: + Pin2: - Pin3: 検出 Pin4: 未接続

10.2. 寸法

■基本情報

製品名称　：WHILL Model C /WHILL Model CK
製造者　：WHILL 株式会社
住所　：神奈川県横浜市鶴見区末広町 1-1-40
横浜市産学共同研究センター実験棟 F 区画
最大重量　：115kg(荷物含む)

■本体

項目	最低値	最高値
全長 (フットサポート含む)	—	985 mm
全幅	—	550 mm
本体重量	—	約 52 kg
分解時の最も重い部品（メインボディ）	—	20.0 kg
航続距離	—	最大 16 km
障害物乗越高さ（前進時）	—	50 mm
最大前進速度	—	6 km/h
座面角度	—	6°
有効座面長さ	375 mm	425 mm（3 段階）
有効座席幅	—	400 mm
座面前端の地上高	445 mm	525 mm
バックサポート角度	90°	100°（3 段階）
バックサポート高さ	740 mm	940 mm（無段階）
フットサポートから座席までの高さ	337 mm	417 mm
座面と脚の角度	—	84°
アームサポートから座面の距離	245 mm	305 mm（4 段階）
アームサポートの前端位置	—	422 mm
車軸の水平方向の位置	—	28.8 mm
最小回転半径	—	760 mm
シート重量	—	14.5 kg
メインボディ重量	—	20.0 kg
ドライブベース重量	—	14.5 kg
バッテリー重量	—	2.8 kg

索引

E

EMI ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

R

RFI ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

U

USB コネクタ ・・・・・・・・・・・・・・・・・33, 70

あ

アーム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31, 82

　長さ調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82

アームサポート・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

アクセサリー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35

アクセサリーポスト・・・・・・・・・・・・・・・・ 67

安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

い

移動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・58, 61

う

運転・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58

運搬・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・101

え

エラー表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46, 110

エラーコード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・110

お

お手入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・106

お問い合わせ先・・・・・・・・・・・・・・・・・・118

オムニホイール・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

か

回転・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62

鍵をかける・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68

各部のはたらき・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

く

組立方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74

　シート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77

　ショッピングバスケット・・・・・・・・・・・・・ 76

　ドライブベース・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75

　バッテリー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80

　メインボディ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75

け

警告表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

警告ラベル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

ケーブル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77

こ

航空機・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・100

後輪・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

骨盤ベルト・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55, 109

コントローラー・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61

　左右交換・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83

コントローラーヘッドの取り付け・・・・・・・・・108

コントローラーボックス・・・・・・・・・・・・31, 83

さ

最高速度の調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57

サウンドボタン・・・・・・・・・・・・・・・・32, 57

座面クッション・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92

し

シート・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72, 77, 95, 102

　高さ調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88

シート分解レバー・・・・・・・・・・・・・・・32, 79

シートポスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89

試験結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・112

自動車のトランク・・・・・・・・・・・・・・・・101

充電・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36

充電器・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34, 38

充電方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

充電ランプ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41

修理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・106

仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・112

乗車・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51

乗車前点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

使用上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

ショッピングバスケット・・・・・・・32, 67, 73, 77, 97

シリアルナンバー・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

す

スイッチボックス・・・・・・・・・・・・・・・32, 83

スピーカー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

スマートキー・・・・・・・・・・・・・・・・・・34, 68

　電池交換・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・107

スマートフォン・・・・・・・・・・・・・・・ 70, 104
寸法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・112
せ
前輪・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
そ
操作方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
速度調整スイッチ・・・・・・・・・・・・・・・・32, 57
速度の調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
ち
調整方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81
て
停止・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
ディスプレイ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32, 110
点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・106, 108
電源ボタン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32, 55
電源を入れる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
電磁波干渉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
電池残量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45, 56
転倒防止バー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
と
ドライブベース・・・・・・・・・・ 72, 75, 98, 103, 109
トラブルシューティング・・・・・・・・・・・・・・110
は
背面クッション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
バックサポート・・・・・・・・・・・・・ 31, 67, 109
　角度調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
　高さ調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
バッテリー・・・・・・・・・・・・・・・ 34, 36, 39, 73
　エラー表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
　残量確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45, 56
　充電・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
　充電ランプ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
　取り付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
　取り外し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
　保守点検と交換・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
バッテリーゲージ・・・・・・・・・・・・・ 38, 45, 46
バッテリーの充電・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
バッテリーの取り付け・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
バッテリーの取り外し・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
ふ
部位の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
フットサポート・・・・・・・・・・・・・・・・ 33, 106
部品交換・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・106
ブレーキ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
ブレーキ解除レバー・・・・・・・・・・・・・・・33, 65
ブレーキの解除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
分解方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 93
　シート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95
　ショッピングバスケット・・・・・・・・・・・・・・ 97
　ドライブベース・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 98
　バッテリー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
　メインボディ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 98
ほ
保管・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・100
保守・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・106
本体分解レバー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
ま
マグネットコネクタ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
め
メインボディ・・・・・・・・・・・ 73, 75, 98, 103, 109
メンテナンス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・109
も
持ちかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・102
ら
ラベル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
り
リアライト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
ろ
ロックする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68

お問い合わせ先

お買い上げ時の取扱店が、修理・メンテナンス・部品交換、および不明点のご相談をお受けいたします。また修理の際の代車の有無についても、取扱店にお問い合わせください。

■取扱店

■製造販売元

WHILL 株式会社
住所：〒 230-0045　神奈川県横浜市鶴見区末広町 1-1-40
横浜市産学共同研究センター実験棟 F 区画
お問い合わせ (WHILL コンタクトデスク)：
0120-062-416（IP 電話の方：050-3085-9840）
ウェブサイト　：http://whill.jp